

自己点検・評価シート（令和4年度）
（全学組織・部局）

目 次

I 教育課程に関すること

01 全学組織（全学教育機構）	・ ・ ・ ・ ・	P 1
02 部局	・ ・	
	(人文社会科学部) ・ ・ ・ ・ ・	P 5
	(教育学部) ・ ・ ・ ・ ・	P10
	(理工学部) ・ ・ ・ ・ ・	P15
	(医学部) ・ ・ ・ ・ ・	P22
	(農林海洋科学部) ・ ・ ・ ・ ・	P27
	(地域協働学部) ・ ・ ・ ・ ・	P32
	(土佐さきがけプログラム (学士)) ・ ・	P37
	(人文社会科学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P42
	(教育学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P47
	(理工学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P52
	(医科学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P57
	(看護学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P62
	(農林海洋科学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P67
	(地域協働学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P73
	(土佐さきがけプログラム (修士)) ・ ・	P78
	(教職実践高度化専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P83
	(応用自然科学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P89
	(医学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P95
	(黒潮圏総合科学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P100
	(大学教育創造センター) ・ ・ ・ ・ ・	P105
	(教師教育センター) ・ ・ ・ ・ ・	P111
	(共通教育実施委員会) ・ ・ ・ ・ ・	P118

II 学生支援に関すること

01 全学組織（全学教育機構）	・ ・ ・ ・ ・	P123
02 部局	・ ・	
	(人文社会科学部) ・ ・ ・ ・ ・	P128
	(教育学部) ・ ・ ・ ・ ・	P132
	(理工学部) ・ ・ ・ ・ ・	P135
	(医学部) ・ ・ ・ ・ ・	P138
	(農林海洋科学部) ・ ・ ・ ・ ・	P141
	(地域協働学部) ・ ・ ・ ・ ・	P144
	(土佐さきがけプログラム (学士)) ・ ・	P147
	(人文社会科学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P150
	(教育学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P153
	(理工学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P156
	(医科学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P159
	(看護学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P162
	(農林海洋科学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P165
	(地域協働学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P168
	(土佐さきがけプログラム (修士)) ・ ・	P171
	(教職実践高度化専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P174
	(応用自然科学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P177
	(医学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P180
	(黒潮圏総合科学専攻) ・ ・ ・ ・ ・	P183
	(学生総合支援センター) ・ ・ ・ ・ ・	P186
	(希望創発センター) ・ ・ ・ ・ ・	P190
	(保健管理センター) ・ ・ ・ ・ ・	P193

III 学生受入に関すること

01 全学組織（入試企画実施機構・大学院入学試験委員会）・・・・・・・・・・P196

02 部局・・	(人文社会科学部)・・・・・・・・・・P203	(看護学専攻)・・・・・・・・・・P239
	(教育学部)・・・・・・・・・・P207	(農林海洋科学専攻)・・・・・・・・・・P243
	(理工学部)・・・・・・・・・・P211	(地域協働学専攻)・・・・・・・・・・P247
	(医学部)・・・・・・・・・・P215	(土佐さがけプログラム(修士))・・P251
	(農林海洋科学部)・・・・・・・・・・P219	(教職実践高度化専攻)・・・・・・・・・・P255
	(地域協働学部)・・・・・・・・・・P223	(応用自然科学専攻)・・・・・・・・・・P259
	(人文社会科学専攻)・・・・・・・・・・P227	(医学専攻)・・・・・・・・・・P263
	(理工学専攻)・・・・・・・・・・P231	(黒潮圏総合科学専攻)・・・・・・・・・・P267
	(医科学専攻)・・・・・・・・・・P235	(アドミッションセンター)・・・・・・・・P271

IV 施設整備に関すること

01 全学組織（全学財務委員会）・・・・・・・・・・P275

V 地域連携に関すること

01 全学組織（次世代地域創造センター）・・・・・・・・・・P278

VI 国際連携に関すること

01 全学組織（国際連携推進センター）・・・・・・・・・・P281

VII 研究に関すること

01 全学組織（研究推進戦略委員会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P284

02 部局・・	(人文社会科学部門)・・・・・・・・・・ P287	(黒潮圏科学部門)・・・・・・・・・・ P315
	(教育学部門)・・・・・・・・・・ P290	(地域協働教育学部門)・・・・・・・・・・ P318
	(理工学部門)・・・・・・・・・・ P293	(生命環境医学部門)・・・・・・・・・・ P321
	(農学部門)・・・・・・・・・・ P296	(複合領域科学部門)・・・・・・・・・・ P324
	(基礎医学部門)・・・・・・・・・・ P299	(総合研究センター)・・・・・・・・・・ P327
	(連携医学部門)・・・・・・・・・・ P303	(防災推進センター)・・・・・・・・・・ P330
	(臨床医学部門)・・・・・・・・・・ P306	(I o P 共創センター)・・・・・・・・・・ P333
	(医学教育部門)・・・・・・・・・・ P309	(海洋コア総合研究センター)・・・・・・・・・・ P336
	(看護学部門)・・・・・・・・・・ P312	

VI 図書館及びICTに関すること

01 全学組織（学術情報基盤図書館）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P339

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1-1 全学組織が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1-1-4	部局が学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導方法が採用されているか。	・部局の自己点検・評価シート	・部局の自己点検・評価シート	■適切である □改善を要する事項がある
1-1-5	部局が、学位授与方針に則して適切な履修指導、支援を行っているか。	・部局の自己点検・評価シート	・部局の自己点検・評価シート	■適切である □改善を要する事項がある
1-1-6	部局が教育課程方針に則して、公正な成績評価を厳格かつ客観的に実施しているか。	・部局の自己点検・評価シート	・部局の自己点検・評価シート	■適切である □改善を要する事項がある
1-1-7	部局が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して、公正な卒業（修了）判定を実施しているか。	・部局の自己点検・評価シート	・部局の自己点検・評価シート	■適切である □改善を要する事項がある
1-1-8	部局において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られているか。	・部局の自己点検・評価シート ・標準修業年限内卒業率・標準修業年限×1.5年内卒業率 ・就職等進路状況	・部局の自己点検・評価シート	■適切である □改善を要する事項がある

1-1-9	関係者（学生、卒業生、卒業生の主な雇用者等）からの意見聴取が実施され、その結果に基づく改善が行われているか。	・部局の自己点検・評価シート ・高知大学での学びに関するアンケート集計結果 ・高知大学卒業生調査集計結果	・意見聴取の実施時期、内容等の一覧	☐ 適切に実施されている ☒ 改善を要する事項がある
-------	--	--	---	--

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	就職先からの意見聴取について、一部の部局において未実施（令和4年度対応予定）となっている。	1-1-9	就職先への意見聴取が未実施となっている部局については、実施方法を検討中であり令和4年度に実施予定である。 学士課程における全学的な就職先調査については、web アンケートを令和4年度に実施予定として検討を進めている。	☐ 検討中 ☒ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	大学院各専攻のカリキュラム・ポリシーについて、学修成果の評価の方針を【教育評価】に示していたが、学生等により伝わりやすいように評価方法等を具体的に明示し、記載内容の充実を図った。	1－1－1	
2	全学教育機構のもとに設置した共通教育再編 WG において共通教育の改革について検討を行い、年度末には報告書を取りまとめた。この報告により改革の方向性が定まり、令和4年度から具体的な再編に向けた検討を開始した。また、データサイエンス教育推進 WG において、リテラシーレベル教育プログラムを構築し、共通教育科目として開講、プログラムの自己点検を行い、令和4年度に数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）の認定制度への申請要件を満たした。さらに共通教育の再編において、改革の柱の一つとして DS 教育の必修化及び DS 科目の充実を図ることを決定した。	1－1－3	

3	各部局において実施しているシラバスチェックについて、入力の不備等を他者の視点でも事前に確認することとし、学生により正確な情報を提示できるよう、全学的にチェック時期の見直しを行い、教員がシラバスを入力後、学生に公開するまでの間に確認及び修正を行うよう変更した。	1－1－3 1－1－4 1－1－6	
4	総合人間自然科学研究科における研究指導についての申合せを策定し、大学院の修了要件及び特別研究科目の位置付けを改めて確認するとともに、研究指導には単位は付与されないため、特別研究科目を含む全ての授業科目において研究指導を含まないよう留意することを明記した。さらに、履修案内等の研究指導に関する記載や特別研究科目のシラバスを見直し学生に周知した。	1－1－3 1－1－7	
5	各学部・専攻等において成績評価異議申し立て制度を定め、第1段階として問い合わせを行い、その回答に納得できない場合等に、第2段階として申立書を提出する仕組みにより学生からの成績評価に対する問い合わせに対応していたものを改め、第1段階から窓口を教務担当事務に一本化し申立書の提出により申し立てを受け付け、委員会組織等により対応する仕組みとし、初期段階から組織的な対応を行うことでさらに制度の公正性を担保することとした。	1－1－6	

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1－2－8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	シラバス	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	認証評価別紙様式6－4－4	・認証評価別紙様式6－4－4	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	認証評価別紙様式6－5－1	・認証評価別紙様式6－5－1	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	認証評価別紙様式6－5－2	・認証評価別紙様式6－5－2	■適切である □改善を要する事項がある

1 - 2 - 15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	認証評価別紙様式 6 - 5 - 3	・ 認証評価別紙様式 6 - 5 - 3	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1 - 2 - 18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	成績評価の分布表 2021 年度成績評価分布分析 高知大学における G P A に関する要項	・ 成績評価の分布表 ・ 成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・ G P A 制度の目的と実施状況についてわかる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1 - 2 - 23	卒業又は修了の認定を、卒業(修了)要件(学位論文審査基準を含む。)に則して組織的に実施しているか。	入学・卒業に関する審議委員会規則 入学・卒業に関する審議委員会の議事録及び判定資料、教授会の議事録 高知大学南溟会賞 人文社会科学部長奨励賞	・ 教授会等での審議状況等の資料 〈以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ〉 ・ 学位論文(特定課題研究の成果を含む。)に係る評価基準、審査手続き等 ・ 学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1 - 2 - 24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	認証評価別紙様式 6 - 8 - 1	・ 認証評価別紙様式 6 - 8 - 1	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1 - 2 - 25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の様子が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	認証評価別紙様式 6 - 8 - 2	・ 認証評価別紙様式 6 - 8 - 2	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1 - 2 - 26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	「2021 年度 人文社会科学部卒業時アンケート」、同 集計結果	・ 学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1 - 2 - 27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与	高知大学卒業生アンケート調査（大学教育創造センター実施） 人文社会科学部 卒業生アンケート	・ 卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、イ	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

	方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		ンタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	
1-2-28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	高知大学人文社会科学部ステークホルダーとの協議会 高知大学人文社会科学部 卒業生勤務先アンケート	・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	□適切である □改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			□検討中 □対応中 □対応済 □その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	優秀卒業論文を評価する取り組みとして、高知大学南溟会賞並びに人文社会科学部長奨励賞を設置している。	1－2－23	

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1－2－8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	シラバス	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	教育上主要と認める授業科目 (別紙様式6－4－4)	・認証評価別紙様式6－4－4	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	令和3年度教育学部履修案内P13 オリエンテーション実施計画 (学務委員会資料)	・認証評価別紙様式6－5－1	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	令和3年度教育学部履修案内P13 認証評価別紙様式6－5－2	・認証評価別紙様式6－5－2	■適切である □改善を要する事項がある

1-2-15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	令和3年度教育学部履修案内 P2、34-35、95-101 認証評価別紙様式6-5-3	・認証評価別紙様式6-5-3	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	成績評価分布の分析結果（学務委員会資料） 高知大学におけるGPAに関する要項及び授業科目の履修登録単位の上限に関する規則 履修案内	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-23	卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文審査基準を含む。）に則して組織的に実施しているか。	教授会資料	・教授会等での審議状況等の資料 （以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ） ・学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある

1－2－24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	2021（令和3）年度 標準修業年限内卒業（修了）率	・認証評価別紙様式6－8－1	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の様子が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	令和3年度 学部卒業生就職等進路状況（令和4年5月1日現在） 入試改革 WG 資料	・認証評価別紙様式6－8－2	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	e-ポートフォリオ教育学部かつをくんアンケート結果 入試改革 WG 資料	・学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与	学部卒業生アンケート	・卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、イ	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

	方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	
1-2-28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	高知市校長会幹事会との懇談報告書	・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1－2－8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	理工学部シラバス	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	理工学部シラバス 6－4－4（理工学部）教育上主要と認める授業科目	・認証評価別紙様式6－4－4	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	6－5－1（理工学部）履修指導の実施状況	・認証評価別紙様式6－5－1	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	6－5－2（理工学部）学習相談の実施状況	・認証評価別紙様式6－5－2	■適切である □改善を要する事項がある

1-2-15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	6-5-3（理工学部）社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組	・認証評価別紙様式6-5-3	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	成績評価の分布表 2021年度理工学部成績評価分布 成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 令和3年度第5回理工学部内部質保証委員会議事要録（R3.12.6） 令和4年度第2回理工学部内部質保証委員会議事要録（R4.5.9） GPA制度の目的と実施状況（成績優秀者判定） 高知大学におけるGPAに関する要項 第2回理工学部・第3回理学部入学及び卒業に関する委員会議事要録（R3.9.1） 第8回理工学部・第5回理学部入学及び卒業に関する委員会議事要録（R4.3.20）	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1-2-23	卒業又は修了の認定を、卒業(修了)要件(学位論文審査基準を含む。)に則して組織的に実施しているか。	高知大学理工学部入学及び卒業に関する委員会規則 卒業研究成績評価基準(理工学部用)	・教授会等での審議状況等の資料 〈以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ〉 ・学位論文(特定課題研究の成果を含む。)に係る評価基準、審査手続き等 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-24	標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	1-2-24_R3 標準修業年限内卒業率・標準修業年限×1.5年内卒業率	・認証評価別紙様式6-8-1	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-25	就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学の様子が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	1-2-25_R3 学部-就職等進路状況(R4.5.1現在)	・認証評価別紙様式6-8-2	■適切である □改善を要する事項がある

1-2-26	卒業(修了)時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	(理工) 高知大学の質保証に関する調査結果集計 2021	・学生からの意見聴取(学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-27	卒業(修了)後一定期間の就業経験等を経た卒業(修了)生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	(理_卒後3年目) 2021 卒業生アンケート	・卒業(修了)後、一定年限を経過した卒業(修了)生についての意見聴取(アンケート、懇談会、インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		・就職先や進学先等の関係者への意見聴取(アンケート、懇談会、インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	☐ 適切である ☒ 改善を要する事項がある
1-2-30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか(センターのみ)。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できていない。	1－2－28	理工学部運営委員会の外部委員の任期が切れるので、新たに委嘱することとしている。これらの外部委員への聞き取りを検討中である。また、就職先へアンケートを依頼した際、就職先からその趣旨についての問い合わせがあったこと、企業あるいは自治体として回答するのか、上司個人の意見として回答してよいのか曖昧なこと、就職先の元学生からは上司へ許可をもらいにくいことなど、問題点を抽出してきたので、それらを基に対応を検討中である。令和4年度末から対応予定である。	☐ 検討中 ☒ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文審査基準を含む。）に則して組織的に実施している。 卒業予定者が学士（理学）・学士（理工学）としての一定の力を身に付けているかを確認する「学士力確認試験」を課している。確認能力は、（１）プレゼンテーション能力（２）課題探求能力（課題発見能力・課題解決能力）（３）学士（理学）・学士（理工学）としての基礎能力（数学的能力、科学英語理解能力、情報スキル関係能力）（４）専門分野基礎知識の４つの項目からなる。 卒業研究の評価は、客観性を担保するためにルーブリック評価を研究室単位で行い、その評価を学科・コース全体で検討し、成績を確定している。成績評価決定の経過については報告書を作成し、内部質保証委員会で確認・情報共有を行っている。	1-2-23	

2	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われている。 「成績・履修自己確認シート」を作成し、履修指導の一環として1学期、2学期に自己点検させる機会を設けている。 「理工学部学習生活相談」窓口をメール (rigakusoudan@kochi-u.ac.jp) で設け、履修登録時に履修相談を行っている。	1－2－1 3	
3	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われている。 「理工学部学習生活相談」窓口をメール (rigakusoudan@kochi-u.ac.jp) で設け、随時、学習相談を受け付けている。 「高知自主ゼミ栽培サークル CEED」に協力を求め、定期試験 1 か月程度前から、学生同士のピアサポートを支援している。	1－2－1 4	
4	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組の一環として教員と地元企業採用担当と交流を持っている。 学生空間「One Step」様の企画で、高知大学教員と地元企業の採用担当者が交流を持つことにより、コロナ禍においての就職活動や現在の大学・学部事情に関して意見交換を行った。	1－2－1 5	

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1－2－8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	・シラバス ・医学部学生の手引き	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	・時間割・基本情報 (ドリームキャンパス)	・認証評価別紙様式6－4－4	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	・アドバイザー教員制度 ・オフィスアワー	・認証評価別紙様式6－5－1	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	・アドバイザー教員制度 ・オフィスアワー	・認証評価別紙様式6－5－2	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	・学内・学外臨床実習（医） （クリニカルクラークシップ委員会） ・学内・学外実習（看）（キャリア支援委員会）	・認証評価別紙様式6－5－3	■適切である □改善を要する事項がある

1-2-18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	・成績評価分布表 ・学務委員会資料及び教授会資料 ・医学部学生の手引	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-23	卒業又は修了の認定を、卒業(修了)要件(学位論文審査基準を含む。)に則して組織的に実施しているか。	・学科会議、学務委員会、教授会資料	・教授会等での審議状況等の資料 (以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ) ・学位論文(特定課題研究の成果を含む。)に係る評価基準、審査手続き等 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-24	標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	・標準修業年限内の卒業率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業率	・認証評価別紙様式6-8-1	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1－2－25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の様子が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	・就職率及び進学率の状況（過去5年分）主な進学／就職先	・認証評価別紙様式6－8－2	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・アンケート調査結果（医学科・看護学科）	・学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・アンケート調査結果	・卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・アンケート調査結果（看護はAP事業で実施） ・医学部関連教育病院からのアンケート調査結果（医学科）	・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある

1－2－30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
--------	--	--	---------	--

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	医学科卒業生が、就職先である医療機関において上司や同僚、周りの医療スタッフと協働し、その地域の医療にどの程度貢献しているかを調査・可視化することで、教育プログラムを具体的に評価する。	1－2－28	医学科の卒業生の所属先に対して、大規模なアンケート調査を実施する仕組みを構築する。アドミッションセンターのアンケート調査のノウハウを活用するとともに、必要に応じて医療機関に本調査の重要性を説明することでアンケートの回収率を上げ、多くのアンケートを収集・管理・分析し、医学教育の成果を可視化する。

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1－2－8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	シラバス	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	シラバス	・認証評価別紙様式6－4－4	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	オリエンテーション アドバイザー制度	・認証評価別紙様式6－5－1	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	オフィスアワー制度 シラバス	・認証評価別紙様式6－5－2	■適切である □改善を要する事項がある

1-2-15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	高知大学における学士課程を通じたキャリア教育の体系構築及び実施要項 キャリア教育・キャリア形成支援改善・充実計画	・認証評価別紙様式6-5-3	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	授業科目における成績評価分布の公表について 高知大学における GPA に関する要綱 農林海洋科学部における公正な成績評価の実施に関する申合せ 農林海洋科学部における履修登録単位の上限及び成績優秀者に関する要綱 成績優秀判定を行った学務委員会議事録	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-23	卒業又は修了の認定を、卒業(修了)要件(学位論文審査基準を含む。)に則して組織的に実施しているか。	入卒審・教授会の議事録	・教授会等での審議状況等の資料 〈以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ〉 ・学位論文(特定課題研究の成果を含む。)に係る評価基準、審査手続き等 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある

1-2-24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	2021（令和3）年度標準年限内卒業（修了）率、2021（令和3）年度標準修業年限×1.5年内卒業（修了）率	・認証評価別紙様式6-8-1	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の様子が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	令和3年度学部者就職等進路状況（令和4年5月1日現在）	・認証評価別紙様式6-8-2	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	R3 卒業時アンケートの集計結果	・学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与	卒業生アンケートの集計結果	・卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、イ	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

	方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	
1-2-28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	卒業生就職先アンケートの調査結果	・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1-2-8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	・シラバス	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	・認証評価別紙様式6-4-4	・認証評価別紙様式6-4-4	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	・認証評価別紙様式6-5-1	・認証評価別紙様式6-5-1	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	・認証評価別紙様式6-5-2	・認証評価別紙様式6-5-2	■適切である □改善を要する事項がある

1 - 2 - 15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	・ 認証評価別紙様式 6 - 5 - 3	・ 認証評価別紙様式 6 - 5 - 3	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1 - 2 - 18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	・ 成績評価の分布表 ・ 成績評価分布等のデータを確認した地域協働学部教務委員会の議事要録 ・ GPA 制度の目的と実施状況についてわかる履修案内の該当ページ	・ 成績評価の分布表 ・ 成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・ GPA 制度の目的と実施状況についてわかる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1 - 2 - 23	卒業又は修了の認定を、卒業(修了)要件(学位論文審査基準を含む。)に則して組織的に実施しているか。	・ 高知大学地域協働学部入学・卒業判定等に関する委員会及び教授会議事要録	・ 教授会等での審議状況等の資料 (以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ) ・ 学位論文(特定課題研究の成果を含む。)に係る評価基準、審査手続き等 ・ 学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1-2-24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	・ 1-2-24_R3 標準修業年限内卒業率・標準修業年限×1.5年内卒業率	・ 認証評価別紙様式6-8-1	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の様子が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	・ 1-2-25_R3 学部-就職等進路状況（R4.5.1現在）	・ 認証評価別紙様式6-8-2	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・ 高知大学の質保証に関する調査結果 ・ 統合・働きかけパフォーマンス評価結果	・ 学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与	・ 令和3年度高知大学卒業生アンケート調査（大学教育創造センター）	・ 卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、イ	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

	方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		ンタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	
1-2-28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・就職先インタビュー報告書 (就職先企業3社で実施)	・就職先や進学先等の関係者への意見聴取(アンケート、懇談会、インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか(センターのみ)。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項(全学組織が行う部局に対する改善指示を含む)

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1-2-8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	シラバス、学生便覧	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	履修案内（専任の教授・准教授が担当する必修科目 88.5%）	・認証評価別紙様式6-4-4	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	・学生便覧（アドバイザー制度）	・認証評価別紙様式6-5-1	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	・学生便覧（アドバイザー制度）	・認証評価別紙様式6-5-2	■適切である □改善を要する事項がある

1－2－15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	・キャリア教育・キャリア形成支援計画	・認証評価別紙様式6－5－3	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	・成績分布の分布表 ・学士課程運営委員会資料	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－23	卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文審査基準を含む。）に則して組織的に実施しているか。	・TSP 運営委員会資料（卒業判定資料）	・教授会等での審議状況等の資料 〈以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ〉 ・学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並び	・認証評価別紙様式6－8－1	・認証評価別紙様式6－8－1	■適切である □改善を要する事項がある

	に学位授与方針に則して適正な状況にあるか。			
1－2－25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の様子が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	・ 認証評価別紙様式 6－8－2	・ 認証評価別紙様式 6－8－2	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・ TSP 卒業予定者アンケート結果	・ 学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・ 高知大学卒業生調査（AP 事業）	・ 卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学	・ TSP 運営委員会（就職先調査）	・ 就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

	習成果が得られていることが確認できるか。		の概要及びその結果が確認できる資料	
1－2－30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1－2－8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	シラバス	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	認証評価別紙様式6－4－4	・認証評価別紙様式6－4－4	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	認証評価別紙様式6－5－1	・認証評価別紙様式6－5－1	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	認証評価別紙様式6－5－2	・認証評価別紙様式6－5－2	■適切である □改善を要する事項がある

1-2-15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	認証評価別紙様式6-5-3	・認証評価別紙様式6-5-3	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	人文社会科学専攻総務委員会議事メモ、分析資料（分布表含む） 高知大学におけるGPAに関する要項 修論中間発表会チラシ・修論発表会チラシ	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-23	卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文審査基準を含む。）に則して組織的に実施しているか。	人文社会科学専攻 入学・修了認定等に関する審議委員会規則 人文社会科学専攻学位審査基準 人文社会科学専攻 入学・修了認定等に関する審議委員会の議事録及び判定資料、専攻会議の議事録 高知大学南溟会賞 人文社会科学専攻長奨励賞	・教授会等での審議状況等の資料 〈以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ〉 ・学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1－2－24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	認証評価別紙様式6－8－1	・認証評価別紙様式6－8－1	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の様子が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	認証評価別紙様式6－8－2	・認証評価別紙様式6－8－2	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	人文社会科学専攻アンケート	・学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与	人文社会科学専攻 修了生アンケート	・卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、イ	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

	方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	
1-2-28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	高知大学大学院人文社会科学専攻 修了生勤務先アンケート	・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	一般公開の修士論文中間発表会と修士論文発表会という二度の発表会を通じて、修士論文の厳格な評価を実施している。	1－2－18	
2	優秀修士論文を評価する取り組みとして、高知大学南溟会賞並びに人文社会科学専攻長奨励賞を設置している。	1－2－23	

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1-2-8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	シラバス	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	認証評価別紙様式6-4-4	・認証評価別紙様式6-4-4	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	2021年度教育学専攻ガイドブック P2-3、60-70 オリエンテーション実施計画 (学務委員会資料)	・認証評価別紙様式6-5-1	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	2021年度教育学専攻ガイドブック P2-3 シラバス（オフィスアワー）	・認証評価別紙様式6-5-2	■適切である □改善を要する事項がある

1-2-15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	2021 年度教育学専攻ガイドブック P60-70	・認証評価別紙様式 6-5-3	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	成績評価分布の分析結果（学務委員会資料） 高知大学における GPA に関する要項及び授業科目の履修登録単位の上限に関する規則 教育学専攻ガイドブック	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA 制度の目的と実施状況についてわかる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-23	卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文審査基準を含む。）に則して組織的に実施しているか。	専攻会議資料 教育学専攻学位論文審査基準 教育学専攻会議規則 教育学専攻会議議事録	・教授会等での審議状況等の資料 （以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ） ・学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1－2－24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	1－2－24_R3 標準修業年限内卒業率・標準修業年限×1.5年内卒業率	・認証評価別紙様式6－8－1	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	1－2－25_R3 総合大学院修士－就職等進路状況（専攻）	・認証評価別紙様式6－8－2	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	専攻学務委員会において意見聴取計画を策定（資料：R4 学部専攻 IR 実施計画）	・学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与	意見聴取計画を策定（資料：R4 学部専攻 IR 計画）	・卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、イ	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

	方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	
1-2-28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	1-2-28_高知市校長会幹事会との懇談報告書	・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1－2－8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	理工学専攻シラバス	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	理工学専攻シラバス	・認証評価別紙様式6－4－4	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	6－5－1_(00)履修指導の実施状況（理工学・応用自然科学）	・認証評価別紙様式6－5－1	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	6－5－2_(00)学習相談の実施状況（理工学・応用自然科学）	・認証評価別紙様式6－5－2	■適切である □改善を要する事項がある

1-2-15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	6-5-3_(00)社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（理工学・応用自然科学）	・認証評価別紙様式6-5-3	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	2021年度理工学専攻成績評価分布 理工学専攻内部質保証委員会内規 令和4年度第1回理工学専攻内部質保証委員会議事要録	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-23	卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文審査基準を含む。）に則して組織的に実施しているか。	高知大学学則 高知大学大学院総合人間自然科学研究科修士課程理工学専攻内規 学位論文審査基準 学位論文審査等実施要項 2022年3月修了	・教授会等での審議状況等の資料 〈以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ〉 ・学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1-2-24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	1-2-24_R3 標準修業年限内卒業率・標準修業年限×1.5年内卒業率	・認証評価別紙様式6-8-1	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の様子が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	1-2-25_R3 総合大学院修士-就職等進路状況（R4.5.1現在）	・認証評価別紙様式6-8-2	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	令和3年度大学院理学・理工学専攻修了予定者アンケート結果	・学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与		・卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、イ	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

	方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		ンタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	
1-2-28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1-2-8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	・シラバス ・履修ガイド	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	・シラバス ・履修ガイド	・認証評価別紙様式6-4-4	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	・シラバス ・履修ガイド ・長期履修学生規則、医科学専攻における長期履修学生の取扱 ・Teams を活用した履修支援	・認証評価別紙様式6-5-1	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	・シラバス（オフィスアワー記載有） ・医科学専攻規則第3条 ・履修ガイド ・Teams を活用した履修支援	・認証評価別紙様式6-5-2	■適切である □改善を要する事項がある

1-2-15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	・研究者と診療の科学 - 医学を学んでいない学習者が、医学の学問的体系の礎となる臨床を理解し、医学研究に対するモチベーションを高めるための科目	・認証評価別紙様式6-5-3	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	・成績評価基準 ・医科学専攻成績分布表（全学期）（専攻会議資料）	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-23	卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文審査基準を含む。）に則して組織的に実施しているか。	・医科学専攻会議での学位審査資料 ・学位論文審査一覧表	・教授会等での審議状況等の資料 （以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ） ・学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1－2－24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	・標準修業年限内の修了率（過去5年）	・認証評価別紙様式6－8－1	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	・就職率及び進学率の状況（過去5年）	・認証評価別紙様式6－8－2	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・修了時アンケート集計報告（医科学専攻会議）	・学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与	・修了生アンケート集計報告（医科学専攻会議）	・卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、イ	■適切である □改善を要する事項がある

	方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	
1-2-28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・就職先アンケート集計報告 (医科学専攻会議で報告)	・就職先や進学先等の関係者への意見聴取(アンケート、懇談会、インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか(センターのみ)。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項(全学組織が行う部局に対する改善指示を含む)

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1-2-8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	・シラバス ・履修ガイド	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	・シラバス ・履修ガイド	・認証評価別紙様式6-4-4	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	・シラバス ・履修ガイド (P. 36) ・長期履修学生規則、看護学専攻における長期履修学生の取扱 ・Teams を活用した履修支援	・認証評価別紙様式6-5-1	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	・シラバス (オフィスアワー記載有) ・看護学専攻規則第3条 ・履修ガイド (P. 36) ・Teams を活用した履修支援	・認証評価別紙様式6-5-2	■適切である □改善を要する事項がある

1-2-15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	・助産学実習Ⅰ・Ⅱ ・地域助産学実習 （助産師国家試験受験資格を得るために必要な実習科目で、実際のお産の現場での実習等を通じて職業観を身につける。）	・認証評価別紙様式6-5-3	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	・成績評価基準 ・看護学専攻成績分布表（全学期）（看護学専攻会議資料）	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-23	卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文審査基準を含む。）に則して組織的に実施しているか。	・看護学専攻会議での学位審査資料 ・学位論文審査一覧表	・教授会等での審議状況等の資料 〈以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ〉 ・学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1 - 2 - 24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	・標準修業年限内の修了率（過去5年）	・認証評価別紙様式6 - 8 - 1	■適切である □改善を要する事項がある
1 - 2 - 25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	・就職率及び進学率の状況（過去5年）	・認証評価別紙様式6 - 8 - 2	■適切である □改善を要する事項がある
1 - 2 - 26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・修了時アンケート集計報告（看護学専攻会議）	・学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
1 - 2 - 27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与	・修了生アンケート集計報告（看護学専攻会議）	・卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、イ	■適切である □改善を要する事項がある

	方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	
1-2-28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・就職先アンケート集計報告(看護学専攻会議)	・就職先や進学先等の関係者への意見聴取(アンケート、懇談会、インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか(センターのみ)。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項(全学組織が行う部局に対する改善指示を含む)

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1-2-8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	シラバス	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	農林海洋科学専攻・農学専攻ホームページ (教育上主要と認める授業科目：専攻共通科目及びコース必修科目 14/14 科目)	・認証評価別紙様式 6-4-4	■適切に実施されている □改善を要する事項がある
1-2-13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	・指導教員制度（主指導教員と共に履修計画を立て、登録票を提出する） ・農林海洋学特別研究Ⅰ～Ⅳ報告書（学期毎に報告会を行い、指導教員・副指導教員から報告書を提出。2年生第2学期は、修士論文最終発表会を行い、指	・認証評価別紙様式 6-5-1	■適切である □改善を要する事項がある

		導教員・副指導教員から報告書を提出する)		
1-2-14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	オフィスアワー制度 シラバス	・認証評価別紙様式6-5-2	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	物部キャンパス就職ガイダンス・セミナー	・認証評価別紙様式6-5-3	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	高知大学大学院成績評価基準 専攻学務委員会議事録	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-23	卒業又は修了の認定を、卒業(修了)要件(学位論文審査基準を含む。)に則して組織的に実施しているか。	農学専攻論文審査及び最終試験実施要項 農学専攻学位審査基準 農林海洋科学専攻学位論文審査及び最終試験実施要項 農林海洋科学専攻学位審査基準	・教授会等での審議状況等の資料 〈以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ〉 ・学位論文(特定課題研究の成果を含む。)に係る評	■適切である □改善を要する事項がある

			価基準、審査手続き等 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	
1-2-24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	2021（令和3）年度標準年限内卒業（修了）率、2021（令和3）年度標準修業年限×1.5年内卒業（修了）率、「標準修業年限×1.5」年限修了率	・認証評価別紙様式6-8-1	■適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	令和3年度総合人間自然科学研究科（修士課程）修了者就職等進路状況（令和4年5月1日現在） 就職希望者に対する就職者の割合、進学率	・認証評価別紙様式6-8-2	■適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	修了時アンケート結果	・学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	■適切である ☐ 改善を要する事項がある

1－2－27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	修了生アンケート結果	・卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	修了生就職先アンケート結果	・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1－2－8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	・シラバス	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	・認証評価別紙様式6－4－4（教育上主要と認める科目：研究科共通科目、専攻共通科目、専攻ゼミナール科目、研究指導科目）	・認証評価別紙様式6－4－4	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	・認証評価別紙様式6－5－1（オリエンテーション）	・認証評価別紙様式6－5－1	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	・認証評価別紙様式6－5－2（オフィスアワーの設定）	・認証評価別紙様式6－5－2	■適切である □改善を要する事項がある

1-2-15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	・認証評価別紙様式6-5-3（「マーケットリサーチ演習」の開講）	・認証評価別紙様式6-5-3	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを確認する専攻教務委員会議事要録（第7回、第12回）	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-23	卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文審査基準を含む。）に則して組織的に実施しているか。	・地域協働学専攻入学・修了認定等に関する審議会内規 ・地域協働学専攻学位論文審査及び最終試験に関する内規 ・地域協働学専攻学位審査基準	・教授会等での審議状況等の資料 （以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ） ・学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1-2-24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	・ 1-2-24_R3 標準修業年限内卒業率・標準修業年限×1.5年内卒業率（R4.5.1 現在）	・ 認証評価別紙様式6-8-1	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の様子が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	・ 1-2-25_R3 総合大学院修士-就職等進路状況（R4.5.1 現在）	・ 認証評価別紙様式6-8-2	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・ 修了予定者アンケート結果	・ 学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与		・ 卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、イ	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

	方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		ンタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	
1-2-28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1－2－8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	・ シラバス	・ シラバス、学生便覧等	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
1－2－9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	・ 必修科目6科目全て、専任の教授・准教授が担当している。	・ 認証評価別紙様式6－4－4	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
1－2－13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	・ 学生便覧（アドバイザー制度）	・ 認証評価別紙様式6－5－1	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
1－2－14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	・ 学生便覧（アドバイザー制度）	・ 認証評価別紙様式6－5－2	■ 適切である □ 改善を要する事項がある

【部局名称：土佐さきがけプログラムグリーンサイエンス人材育成コース（修士）】

1－2－15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	・キャリア教育・キャリア形成支援計画	・認証評価別紙様式6－5－3	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	・TSP 運営委員会資料（成績分布の分析）	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－23	卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文審査基準を含む。）に則して組織的に実施しているか。	・TSP 運営委員会資料（修了判定審議資料） ・高知大学土佐さきがけプログラムグリーンサイエンス人材育成コース（修士課程）学位審査基準 ・高知大学大学院総合人間自然科学研究科修士課程土佐さきがけプログラムグリーンサイエンス人材育成コース学位論文審査及び最終試験実施要項	・教授会等での審議状況等の資料 〈以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ〉 ・学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1－2－24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	・ 認証評価別紙様式 6－8－1	・ 認証評価別紙様式 6－8－1	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
1－2－25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の様子が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	・ 認証評価別紙様式 6－8－2	・ 認証評価別紙様式 6－8－2	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
1－2－26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・ TSP 卒業・修了予定者アンケート結果	・ 学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
1－2－27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与	・ 修了生アンケート（理工学専攻と合同実施）	・ 卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、イ	■ 適切である □ 改善を要する事項がある

	方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		ンタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	
1－2－28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・TSP 運営委員会（就職先調査）	・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1-2-8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	・2021年度教職実践高度化専攻（専門職学位課程）ガイドブック	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	・認証評価別紙様式6-4-4	・認証評価別紙様式6-4-4	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	・認証評価別紙様式6-5-1	・認証評価別紙様式6-5-1	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	・認証評価別紙様式6-5-2	・認証評価別紙様式6-5-2	■適切である □改善を要する事項がある

1 - 2 - 15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	・ 認証評価別紙様式 6 - 5 - 3	・ 認証評価別紙様式 6 - 5 - 3	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1 - 2 - 18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	・ 成績評価の分布表 ・ 学務委員会議事録（年度末に成績評価分布表を学務委員会で確認） ・ 高知大学における GPA に関する要項 ・ 高知大学教職大学院教育実践研究及び総合実践研究実施要項 ・ 教職実践高度化専攻会議議事録（実践研究及び総合実践研究の成績評価の審議）	・ 成績評価の分布表 ・ 成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・ GPA 制度の目的と実施状況についてわかる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1 - 2 - 23	卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文審査基準を含む。）に則して組織的に実施しているか。	・ 学務委員会議事録 ・ 専攻会議議事録	・ 教授会等での審議状況等の資料 （以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ） ・ 学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等 ・ 学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1－2－24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	・ 認証評価別紙様式 6－8－1	・ 認証評価別紙様式 6－8－1	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の様子が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	・ 認証評価別紙様式 6－8－2	・ 認証評価別紙様式 6－8－2	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・ 修了予定者アンケート及び分析結果	・ 学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与	・ Web による修了生アンケート ・ 教職実践高度化専攻ニューズレター（修了生の活躍状況・意見の特集）	・ 卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、イ	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

	方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	
1-2-28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・高知大学教職大学院連携協議会の議事録（高知県教育委員会による修了生と勤務校長への聞き取り調査の報告を含む）	・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。	・附属学校教育研究センター運営会議の議事録 ・専攻会議資料（附属学校教育研究センター報告）	・センター年報	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	教育実践研究の課題や成果の発表を中心とする「土佐の皿鉢ゼミ」を年2回開催し、教育実習校の指導教員や高知県市町村の教育委員会等大学内外の教育関係者の参加を得て、院生の教育実践研究を多様な視点や専門的視点から研究協議している。今年度は新型コロナのため同期型オンラインでの開催となったが、高知県教育委員会次長の基調講演もいただき、県の教育課題に対応する視点で研究を深めることができた。	1-2-8	

2	学部卒院生 5 名を含め、修了生 15 名全員が、県内外の公立学校教諭や教育委員会の指導主事として就職した。(教員就職率 100%：指導主事を含む)	1－2－25	
3	Web を活用した修了生へのアンケートを行った他に、教職実践高度化専攻ニューズレターを発行し、そこで修了生の活躍状況・意見の特集をくみ、修了生の活躍の状況と大学院での学習成果について記事にしており、それから優れた成果が得られていることが確認できた。	1－2－27	
4	高知県教育委員会が県内の公立学校に勤務している修了生とその勤務校校長に対して独自に意見聴取を行っており、その分析結果を基に高知大学教職大学院連携協議会において修了生の学習成果について評価を協議し、優れた成果が得られていることが確認できた。	1－2－28	

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1－2－8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	応用自然科学専攻シラバス	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	応用自然科学専攻シラバス	・認証評価別紙様式6－4－4	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	6－5－1_(00)履修指導の実施状況（理工学・応用自然科学）	・認証評価別紙様式6－5－1	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	6－5－2_(00)学習相談の実施状況（理工学・応用自然科学）	・認証評価別紙様式6－5－2	■適切である □改善を要する事項がある

1-2-15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	6-5-3_(00)社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（理工学・応用自然科学）	・認証評価別紙様式6-5-3	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	2021年度応用自然科学専攻成績評価分布 応用自然科学専攻内部質保証委員会内規 令和4年度第1回応用自然科学専攻内部質保証委員会議事要録	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-23	卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文審査基準を含む。）に則して組織的に実施しているか。	高知大学学則 高知大学大学院総合人間自然科学研究科博士課程応用自然科学専攻内規 学位論文審査基準 学位論文審査等実施要項 2022年3月修了	・教授会等での審議状況等の資料 〈以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ〉 ・学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1－2－24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	1－2－24_R3 標準修業年限内卒業率・標準修業年限×1.5年内卒業率	・認証評価別紙様式6－8－1	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の様子が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	1－2－25_R3 総合大学院博士-就職等進路状況（R4.5.1現在）	・認証評価別紙様式6－8－2	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	修了生インタビュー（理工学部案内）	・学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与	修了後3年目インタビュー	・卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、イ	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

	方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		ンタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	
1-2-28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☐ 適切である ☒ 改善を要する事項がある
1-2-30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できていない。	1-2-28	理工学部運営委員会の外部委員の任期が切れるので、新たに委嘱することとしている。これらの外部委員への聞き取りを検討中である。また、就職先へアンケートを依頼した際、就職先からその趣旨についての問い合わせがあったこと、企業あるいは自治体として回答するのか、上司個人の意見として回答してよいのか曖昧なこと、就職先の元学生からは上	☐ 検討中 ☒ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

			司へ許可をもらいにくいことなど、問題点を抽出してきたので、それらを基に対応を検討中である。さらに、訪問頂く企業等の人事関係部署の方からのインタビューの可能性を引き続き検討している。令和4年度末から対応予定である。	
--	--	--	--	--

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1－2－8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	・シラバス ・履修ガイド	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	・シラバス ・履修ガイド	・認証評価別紙様式6－4－4	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	・シラバス ・医学専攻規則第4条 ・長期履修学生規則、医科学専攻における長期履修学生の取扱 ・Teams を活用した履修支援	・認証評価別紙様式6－5－1	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	・シラバス（オフィスアワー記載有） ・医学専攻規則第4条 ・Teams を活用した履修支援	・認証評価別紙様式6－5－2	■適切である □改善を要する事項がある

1－2－15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	・特別研究 (数名を除き、大半が職業（医師・薬剤師・医療職員等）を有しているため具体的な取り組みはないが、特別研究科目が必修科目として開設されており、国際的学術誌にその成果を公表することとなっている)	・認証評価別紙様式6－5－3	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	・成績評価基準 ・医学専攻成績分布表（全学期）（専攻会議資料）	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－23	卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文審査基準を含む。）に則して組織的に実施しているか。	・医学専攻会議での学位審査資料 ・学位論文審査一覧表	・教授会等での審議状況等の資料 （以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ） ・学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等 ・学位論文の審査体制、審査員の選	■適切である □改善を要する事項がある

			考方法が確認できる資料	
1-2-24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	・標準修業年限内の修了率（過去5年）	・認証評価別紙様式6-8-1	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の様子が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	・就職率及び進学率の状況（過去5年）	・認証評価別紙様式6-8-2	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・修了時アンケート集計報告（医学専攻会議）	・学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学	・修了生アンケート集計報告（医学専攻会議で報告）	・卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての	■適切である □改善を要する事項がある

	及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	
1－2－28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・就職先アンケート集計報告（医学専攻会議で報告）	・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1-2-8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	シラバス	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。	認証評価別紙様式6-4-4	・認証評価別紙様式6-4-4	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	認証評価別紙様式6-5-1	・認証評価別紙様式6-5-1	■適切である □改善を要する事項がある
1-2-14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	認証評価別紙様式6-5-2	・認証評価別紙様式6-5-2	■適切である □改善を要する事項がある

1-2-15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	認証評価別紙様式 6-5-3	・認証評価別紙様式 6-5-3	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	・2021 年度成績分析 ・教務委員会審議結果 ・専攻会議議事録	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-23	卒業又は修了の認定を、卒業(修了)要件(学位論文審査基準を含む。)に則して組織的に実施しているか。	・専攻会議議事録 ・黒潮圏総合科学専攻学位審査基準 ・黒潮圏総合科学専攻学位論文審査等に関する実施要項 ・黒潮圏総合科学専攻学位論文審査等に関する実施要項取扱い申合せ	・教授会等での審議状況等の資料 (以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ) ・学位論文(特定課題研究の成果を含む。)に係る評価基準、審査手続き等 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1 - 2 - 24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	認証評価別紙様式 6 - 8 - 1	・ 認証評価別紙様式 6 - 8 - 1	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1 - 2 - 25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。	認証評価別紙様式 6 - 8 - 2 学校基本調査または大学ポートレート URL	・ 認証評価別紙様式 6 - 8 - 2	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1 - 2 - 26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	・ 学修進捗状況報告書 DP 達成度評価集計 ・ 国費優先配置プログラム学生への聞き取り調査結果	・ 学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1 - 2 - 27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与	修了生アンケート集計結果	・ 卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、イ	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

	方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	
1-2-28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	就職先ヒアリング調査報告書	・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1－2－8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。		・ シラバス、学生便覧等	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。		・ 認証評価別紙様式6－4－4	☐ 適切に実施されている ☐ 改善を要する事項がある
1－2－13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。		・ 認証評価別紙様式6－5－1	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。		・ 認証評価別紙様式6－5－2	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1-2-15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。		・認証評価別紙様式6-5-3	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。		・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-23	卒業又は修了の認定を、卒業(修了)要件(学位論文審査基準を含む。)に則して組織的に実施しているか。		・教授会等での審議状況等の資料 〈以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ〉 ・学位論文(特定課題研究の成果を含む。)に係る評価基準、審査手続き等 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1-2-24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。		・認証評価別紙様式6-8-1	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の様子が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。		・認証評価別紙様式6-8-2	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。	高知大学の質保証に関する調査2021 結果報告（高知大学での学びに関するアンケート）	・学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与	令和3年度卒業生調査集計結果	・卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、イ	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

	方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		ンタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	
1-2-28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。	大学教育創造センターHP 令和3年度大学教育創造センター活動報告	・センター年報	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	学修成果を可視化するツールとしてe-ポートフォリオの恒常的な運用を行い、データを蓄積するとともに、学生の目標設定・振り返り、各学部での学生面談、学部独自機能等で活用した。令和3年度は、新入生向けe-ポートフォリオ説明動画を作成し高知大学 moodle へ掲載したほか、各学部の教育活動を通じたシステム利用、成績公開時や学期の区切りに併せた学生への目標設定や振り返り入力のお知らせ等により活用を促進することで利用率は	1-2-30	

	91.8%となり、ほぼすべての学生が e ポートフォリオを利用し、自身の学修の PDCA を意識することで学びの質の向上を図ることができた。		
2	コロナウイルス感染症対策のためのオンライン授業について、令和 2 年度より学期ごとに全学の学生を対象として実施したアンケートでは、本学が実施するオンライン授業の満足度についての肯定的回答は、33%（令和 2 年度第 1 学期）から、62%（令和 3 年度第 2 学期）へと向上した。アンケート結果をもとにした「オンライン授業のための Tips」の刊行や、オンライン授業でのアクティブラーニングについての F D などの実施を通じて、教員の教育改善が実現したことと、学生のオンライン授業への対応力が向上した結果である。	1-2-30	
3	「新任教員研修プログラム」の受講管理システムの運用がはじまったことで、受講状況の確認、提出物の管理、部局長への報告・ 決裁 業務が一元管理された。これによって、受講者及び部局長は受講状況が正確に把握できるようになり、業務の管理も円滑になった。	1-2-30	

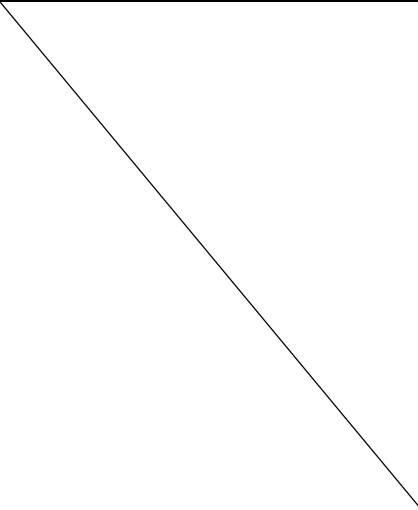
※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1－2－8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	・教職実践演習実施専門部会（メール会議）結果（備考：シラバス、実施形態などを審議）	・シラバス、学生便覧等	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。		・認証評価別紙様式6－4－4	□適切である □改善を要する事項がある
1－2－13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。	・教職課程ハンドブック	・認証評価別紙様式6－5－1	■適切である □改善を要する事項がある
1－2－14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。	・教師教育センター運営戦略室会議議事録（備考：現職教員による模擬授業指導）	・認証評価別紙様式6－5－2	■適切である □改善を要する事項がある

1-2-15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。	・教職実践演習アンケート	・認証評価別紙様式6-5-3	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	・全学教職委員会が開講する教育実習・養護実習の成績評価について ・全学教職委員会が開講する介護等体験の成績評価について ・全学教職委員会（メール会議）結果（備考：成績確認及び認定）	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-23	卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文審査基準を含む。）に則して組織的に実施しているか。			☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1－2－24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。		・認証評価別紙様式6－8－1	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の様子が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。		・認証評価別紙様式6－8－2	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		・学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与		・卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、イ	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

	方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		ンタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	
1-2-28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。	・R3年度教師教育センター活動報告	・センター年報	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	1年生対象の教職課程ガイダンスにおいて、教員免許状取得希望者にメールアドレスの登録を行ってもらうことで、教員免許取得に関する履修方法等の様々な情報をメールマガジンとして発行する。	1－2－13	令和4年4月に教職課程ガイダンスを実施し、以後毎月1回を目途に教員免許状取得希望者に対して、メールマガジンを配信予定。履修に関する情報や教員免許取得に関するさまざまな情報を配信することで、学生が必要とする情報をより高い精度で通知できることが期待される。
2	令和4年度から始まる第4期高知CST養成・育成事業の授業内容について、令和3年度中に見直しを図られた。その結果、理科授業力向上を目的とする「実践・演習コアカリキュラム」の科目として「理科授業分析・改善演習」を新設することとした。	1－2－30	令和3年度に高知CST養成・育成事業の授業内容の見直しが図られた結果、令和4年度から始まる第4期の授業科目として「理科授業分析・改善演習」を新設した。科目の新設により、理科における問題解決学習の具体的な指導方法を考案する力量を習得させ、理科授業力のさらなる向上が期待される。

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	前年度に引き続き、令和元年度に作成した『教職課程ハンドブック』を用いて、1年生に対して教職課程ガイダンスを実施した（教員免許、学芸員資格の2つ）。令和3年度のガイダンスでは、教員免許、学芸員資格の担当教員より各資格の取得に向けた流れや現状について説明を行い、1年生に対してより具体的に4年間の見通しを持たせることができた。また、質疑応答の時間を設けたことで、学生の疑問や不安を解消し理解を深める機会とした。さらに、学生にメールアドレスの登録を行ってもらい、学生が必要とする情報をより高い精度で通知できる体制を準備できた。	1－2－13	
2	介護等体験事後指導の内容は、以前は代表者の体験発表を共有するのみであったが、受講生アンケートの結果を反映し、平成30年度以降はグループワークを導入することで、全員が体験を振り返り、体験を共有することができる内容に変更している。令和3年度はコロナ禍で実際の体験ができなかったが、事前指導のグループワークでは介護等体験で学びたいことについて明確化した資料を作成させ、事後指導時にオンラインでその資料を参照しながら代替措置で学んだ事項の位置づけを確認できた。それにより、事前指導と事後指導での理解の変容を学生自身が自覚できる内容となり、コロナ禍の代替措置の中で、事前指導と事後指導を結びつける一体化プログラムの開発と実施ができた。	1－2－14	
3	前年度の教育実習事前指導において、より実際の学校現場に近い授業体験をさせるため、異なる教科の免許を取得する学生を組み合わせ、模擬授業	1－2－14	

	を実施する方法に変更しており、コロナ禍の令和3年度も引き続き、方法を工夫することで実施した。また、事後指導では、グループワークで各自の体験や学びを後輩に伝える新聞を作成することで、振り返りと共有を図るとともに、全員が主体的に参加する形式を完成させた。		
4	4年生2学期実施の教職実践演習において、教職大学院の協力を得て、学生と現職教員との対話を設定した。令和3年度は各グループに現職教員を2名ずつ配置し、複数の教員の考えを聞けるようにした。学生が教育現場を知るとともに、教員や教育現場が持つ疑問、悩み、不安の解消も図ることができた。事後のアンケートでも、この回の満足度が高く、教職実践演習自体の教育効果が上がっている。	1－2－15	
5	高知 CST 養成プログラム第3期の最終年度を迎えるにあたり、そのまとめとして「2021 高知 CST シンポジウム」を開催した。本会では、例年同時期に行われている「CST 活動報告会」に加え、他県の CST 活動を行う大学関係者も参加し、高知県の CST 活動のみならず、他県の活動の現状、問題点・課題、成果などが発表され、共有された。具体的には、県内での CST 活動に限定せず、CST 活動が活発に行われている複数の県が協働し、より多角的な CST 活動の可能性が話し合われた。 このような交流を通して、高知県の CST 活動の活性化とこれを実働する CST の力量の向上、ひいては高知県の理科教育の発展が期待される。	1－2－30	

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

1 教育課程に関すること

1－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
1－2－8	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか。	シラバス	・シラバス、学生便覧等	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－9	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか。		・認証評価別紙様式6－4－4	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－13	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか。		・認証評価別紙様式6－5－1	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－14	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか。		・認証評価別紙様式6－5－2	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1-2-15	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか。		・認証評価別紙様式6-5-3	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-18	成績評価基準にのっとり各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか。	成績評価分布分析報告書	・成績評価の分布表 ・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料 ・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-23	卒業又は修了の認定を、卒業(修了)要件(学位論文審査基準を含む。)に則して組織的に実施しているか。		・教授会等での審議状況等の資料 (以下は専門職学位課程を除く大学院課程のみ) ・学位論文(特定課題研究の成果を含む。)に係る評価基準、審査手続き等 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

1－2－24	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。		・認証評価別紙様式6－8－1	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－25	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の様子が、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則して適正な状況にあるか。		・認証評価別紙様式6－8－2	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－26	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		・学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1－2－27	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与		・卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、イ	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

	方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料	
1-2-28	就職先等からの意見聴取の結果において、大学及び部局の目的並びに学位授与方針に則した学習成果が得られていることが確認できるか。		・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
1-2-30	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。	共通教育活動報告書	・センター年報	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	共通教育実施委員会の分科会（分野）ごとに成績評価分布を分析した上で報告書をまとめ、公正な成績評価の実施に努めるよう全学委員会（学士課程運営委員会及び共通教育実施委員会）において報告を行った。	1－2－18	
2	共通教育実施委員会の部会（計4部会）及び分科会（計10分科会）におけるカリキュラム編成、自己点検・自己評価、FD及び広報活動等に関する報告書を作成し、本学HP上で公表するとともに、次年度以降の授業改善等につなげられるよう全学委員会（共通教育実施委員会）において報告を行った。	1－2－30	

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-1 全学組織が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-1-5	学生の部活動や自治会活動等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行っているか。	・各学部等の自己点検・評価シート ・2-1-5-01_認証評価別紙様式4-2-2（課外活動に係る支援状況一覧）	・各学部等の自己点検・評価シート ・認証評価別紙様式4-2-2	■適切である □改善を要する事項がある
2-1-7	学生に対する経済面での援助を行っているか。	・部局の自己点検・評価シート ・2-1-7-01_認証評価別紙様式4-2-5（経済的支援の整備状況、利用実績一覧） ・2-1-7-02_学生便覧 P29 から 30、37 から 40（奨学金窓口・奨学金制度） ・2-1-7-03_奨学金制度_日本学生支援機構（大学 HP） ・2-1-7-04_奨学金制度_高知大学独自の奨学金制度（大学 HP） ・2-1-7-05_その他の奨学金情報（大学 HP） ・2-1-7-06_KULAS お知らせ_奨学金	・部局の自己点検・評価シート ・認証評価別紙様式4-2-5 ・奨学金の制度やその利用実績が確認できる資料 ・入学料、授業料免除の基準や実施状況が確認できる資料 ・学生寄宿舍の利用状況が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある

		・2-1-7-07_学生統計要覧（日本学生支援機構奨学金等抜粋） ・2-1-7-08_学生統計要覧（大学独自の奨学金抜粋） ・2-1-7-09_高知大学地方創生人材育成基金奨学金規則 ・2-1-7-10_高知大学修学支援基金奨学金規則 ・2-1-7-11_高知大学池知奨学金規則 ・2-1-7-12_高知大学医学部岡豊奨学会奨学金取扱要領 ・2-1-7-13_高知大学土佐さきがけプログラム奨学事業実施要項 ・2-1-7-14_高知大学国際交流基金規則 ・2-1-7-15_学生便覧 P37（授業料免除・徴収猶予） ・2-1-7-16_高知大学授業料免除及び徴収猶予選考基準 ・2-1-7-17_授業料減免・徴収猶予制度について（大学 HP） ・2-1-7-18_高知大学入学料免除及び徴収猶予選考基準 ・2-1-7-19_入学料減免・徴収猶予制度について（大学 HP） ・2-1-7-20_学生統計要覧（入学料・授業料免除抜粋） ・2-1-7-21_高知大学入学料免除及び徴収猶予規則		
--	--	---	--	--

		・2-1-7-22_高知大学授業料・寄宿料免除及び授業料徴収猶予規則 ・2-1-7-23_高知大学授業料免除運用方針 ・2-1-7-24_学生便覧 P40 から 41 (学生寮) ・2-1-7-25_学生寮、下宿・アパートについて (大学 HP) ・2-1-7-26_学生統計要覧 (入寮状況抜粋) ・2-1-7-27_高知大学学寮管理運営規則 ・2-1-7-28_高知大学学内ワークスタディ実施要領 ・2-1-7-29_令和3年度学内ワークスタディの実績について ・2-1-7-30_コロナ禍における学生支援策一覧 ・2-1-7-31_高知大学新型コロナウイルス感染症対応支援金 ・2-1-7-32 コロナ禍における学部1年生への教材費・食費等の緊急支援について		
2-1-8	自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されているか。	・部局の自己点検・評価シート ・2-1-8-01_認証評価別紙様式 4-1-6 (自主的学習環境整備状況一覧) ・2-1-8-02_R3 自主的学習環境の利用者数 (教室・演習室以外)	・部局の自己点検・評価シート ・認証評価別紙様式 4-1-6	■適切である □改善を要する事項がある

2-1-9	関係者（学生、卒業生、卒業生の主な雇用者等）からの意見聴取の結果に基づく改善が行われているか。	・2-1-9-01_令和3年度第1学期オンライン授業と学生生活に関するアンケート（大学HP） ・2-1-9-02_R3 コロナ禍における学生支援策一覧	・意見聴取の実施時期、内容等の一覧	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
-------	---	--	-------------------	---

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	コロナ禍の影響で、学資負担者等の収入や学生本人のアルバイト等による収入減等により、経済的に困窮している学生への支援のために、本学独自の返済不要な「高知大学新型コロナウイルス感染症対応支援金」を高知大学さきがけ志金を原資として支給した。また、教材等の購入や食事に利用できる高知大学生生活協同組合の電子マネー又は利用券を日本学生支援機構の補助金及び高知大学さきがけ志金からの一部補助を受けて配付した。	2-1-7	

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	高知大学 HP：HOME＞就職支援＞就職のページ 学生便覧「V 就職」（P. 65-67） 高知大学人文社会科学部教授会の運営に関する内規＞（9）人文社会科学部就職委員会 高知大学アドバイザー教員に関する規則＞第3条 就職活動説明会 就職レポート	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談につい	高知大学 HP：HOME＞教育・学生生活＞学生情報＞その他留意事項＞ハラスメントのページ	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策	■適切である □改善を要する事項がある

	て、部局における体制が整備されているか。	学生便覧「Ⅶ その他の留意事項 > 2. ハラスメント」(P83-85)	方法が確認できる資料	
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。	認証評価別紙様式6-5-4 高知大学学生総合支援センター支援推進室と各学部等が連携して行う修学支援に関する要項に係る人文社会科学部の取扱いについて	・認証評価別紙様式6-5-4（留学生の項目を除く） ・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への支援に関する部局における体制が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	□適切である □改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	・人文社会科学部保護者向け「就職活動説明会」を実施した。 ・人事コンサルタント&大学教員の鈴木 賞子先生が執筆した「就職レポート」（1～4年生向け、1年生保護者向けの計5種類）を配布した。	2－2－1	

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	2-2-1 教育学部委員会内規	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。	2-2-2 ハラスメント防止委員会委員名簿 2-2-2 教育学部人権委員会規則 2-2-2 相談員 2-2-2 倫理・人権・苦情処理委員会委員名簿	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。	2-2-3 インクルージョン支援推進室規則 教育学部・教育学専攻インクルージョン支援委員会及び個別支援会議に関する内規	・認証評価別紙様式6-5-4（留学生の項目を除く） ・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への支援に関する	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

			部局における体制が確認できる資料	
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	幼保教職キャリア面談 外部の校長職・園長職経験者による実習後の3年生全員への進路面談	2-2-1	
2	教員採用試験対策講座 外部の校長職・園長職経験者、学部教員、就職課の連携による模擬面接・模擬授業・実技指導対策講座の実施	2-2-1	
3	高知県教員採用試験問題解説会 高知県教育委員会福利課による採用試験説明会の実施	2-2-1	
4	OB・OGの話を聞こう会 本学部・専攻卒業生による現役生への講話	2-2-1	
5	教職キャリア形成支援ガイダンス 教職大学院との共同実施による現職教員の講話	2-2-1	
6	教員採用試験2次対策講座 教職大学院に在籍する現職教員による2次試験の対策講座の実施	2-2-1	

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	高知大学アドバイザー教員に関する規則（第3条） 高知大学全学教育機構会議委員会規則（第6条） アドバイザー教員一覧	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。	高知大学倫理・人権・苦情処理委員会規則 高知大学ハラスメント防止委員会規則 学生便覧 P. 83～85 ハラスメント相談員（3名） アドバイザー教員一覧	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援に	認証評価別紙様式 6-5-4	・認証評価別紙様式 6-5-4（留	■適切である □改善を要する事項がある

	ついて、部局における体制が整備されているか。	高知大学学生総合支援センター インクルージョン支援推進室と 各学部等が連携して行う修学支援に関する要項 理工学部肢体不自由修学支援打合せ（議事要録）	学生の項目を除く） ・障害のある学生 その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への支援に関する部局における体制が確認できる資料	
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	理工学部肢体不自由学生の修学支援に関する打合せ会の開催 インクルージョン支援推進室と協力し、学部長・学務委員長・修学支援コーディネーター・インクルージョン支援推進室長及び同室員・行政の方・外部支援相談員を含み、理工学部肢体不自由学生の修学支援に係る事項の打ち合わせを行い、遺漏なく支援できる体制を整えている。	2-2-3	

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	・キャリア支援委員会（看） ・初期臨床研修担当係	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。	・学務委員会資料（相談体制：ハラスメント相談員、学生課何でも相談窓口、保健管理センター医学部分室）	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。	・メンタルヘルスを配慮した支援を必要とする学生の就学支援WG（内規）	・認証評価別紙様式6-5-4（留学生の項目を除く） ・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への支援に関する部局における体制が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
-------	--	--	---------	--

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	農林海洋科学部教授会運営に関する細則 5-2-(2) 学生支援委員会	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。	農林海洋科学部教授会運営に関する細則 4-(3) 倫理人権委員会 高知大学ホームページ「ハラスメント」ハラスメント等相談の流れ	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。	農林海洋科学部教授会運営に関する細則 5-2-(2) 学生支援委員会 高知大学学生総合支援センター インクルージョン支援推進室と各学部等が連携して行う就学支援に関する要項 農林海洋科学部と学生総合支援センターインクルージョン支援	・認証評価別紙様式 6-5-4（留学生の項目を除く） ・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への支援に関する	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

		推進室が連携して行う就学支援に関する申し合わせ	部局における体制が確認できる資料	
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	・第68回地域協働学部教授会資料（学部と専攻の委員会を併記した資料） ・2021年度各回の修学・就職支援部会議事録 ・地域協働学部教授会運営に関する内規（第4条第2項第2号修学・就職支援部会）	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。	・第68回地域協働学部教授会資料（学部と専攻の委員会を併記した資料/ハラスメント等相談員3名）	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。	・第68回地域協働学部教授会資料（学部と専攻の委員会を併記した資料） ・認証評価別紙様式6-5-4 ・地域協働学部教授会運営に関	・認証評価別紙様式6-5-4（留学生の項目を除く）	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

		する内規（第3条第1項第6号 インクルージョン支援委員会）	・障害のある学生 その他特別な支援 を行うことが必要 と考えられる学生 への支援に関する 部局における体制 が確認できる資料	
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	就職支援_相談員紹介（大学HP） 学生便覧「就職」 履修案内「アドバイザー制度及びオフィスアワー制度」	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。	学生便覧（ハラスメント） ハラスメント相談体制（大学HP） パンフレット「ハラスメントと感じたら」	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。	国立大学法人高知大学における障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領 高知大学学生総合支援センター インクルージョン推進支援室 規則 土佐さきがけプログラムと学生総合支援センターインクルージョン支援推進室が連携して行う	・認証評価別紙様式6-5-4（留学生の項目を除く） ・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への支援に関する	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

		修学支援に関する取扱いについて	部局における体制が確認できる資料	
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	高知大学 HP：HOME＞就職支援＞就職のページ 学生便覧「Ⅴ 就職」（P. 65-67）	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。	高知大学 HP：HOME＞教育・学生生活＞学生情報＞その他留意事項＞ハラスメントのページ 学生便覧「Ⅶ その他の留意事項 ＞ 2. ハラスメント」（P83-85）	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。	認証評価別紙様式 6-5-4 高知大学学生総合支援センターインクルージョン支援推進室と各学部等が連携して行う修学支援に関する要項に係る人文社会科学専攻の取扱いについて	・認証評価別紙様式 6-5-4（留学生の項目を除く） ・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生	■適切である □改善を要する事項がある

			への支援に関する 部局における体制 が確認できる資料	
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	2-2-1 教育学部委員会内規	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。	2-2-2 ハラスメント防止委員会委員名簿 2-2-2 教育学部人権委員会規則 2-2-2 相談員 2-2-2 倫理・人権・苦情処理委員会委員名簿	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。	2-2-3 インクルージョン支援推進室規則 教育学部・教育学専攻インクルージョン支援委員会及び個別支援会議に関する内規	・認証評価別紙様式6-5-4（留学生の項目を除く） ・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への支援に関する	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

			部局における体制 が確認できる資料	
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	教員採用試験対策講座 外部の校長職・園長職経験者、学部教員、就職課の連携による模擬面接・模擬授業・実技指導対策講座の実施	2－2－1	
2	高知県教員採用試験問題解説会 高知県教育委員会福利課による採用試験説明会の実施	2－2－1	
3	OB・OG の話を聞こう会 本学部・専攻卒業生による現役生への講話	2－2－1	
4	教職キャリア形成支援ガイダンス 教職大学院との共同実施による現職教員の講話	2－2－1	
5	教員採用試験2次対策講座 教職大学院に在籍する現職教員による2次試験の対策講座の実施	2－2－1	

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	高知大学アドバイザー教員に関する規則（第3条） 高知大学全学教育機構会議委員会規則（第6条） アドバイザー教員一覧	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。	高知大学倫理・人権・苦情処理委員会規則 高知大学ハラスメント防止委員会規則 学生便覧 P. 83～85 ハラスメント相談員（3名） アドバイザー教員一覧	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援に	認証評価別紙様式 6-5-4	・認証評価別紙様式 6-5-4（留	■適切である □改善を要する事項がある

	ついて、部局における体制が整備されているか。	高知大学学生総合支援センター インクルージョン支援推進室と 各学部等が連携して行う修学支援に関する要項	学生の項目を除く) ・障害のある学生 その他特別な支援 を行うことが必要 と考えられる学生 への支援に関する 部局における体制 が確認できる資料	
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	・指導教員・複数指導教員一覧 ・医学系専攻運営委員会	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。	・ハラスメント相談員（岡豊キャンパス） ・学生何でも相談窓口（学生課） ＜学生便覧＞	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。	・医学部・医学専攻・医科学専攻・看護学専攻と学生総合支援センター・インクルージョン支援推進室が連携して行う修学支援に関する申合せ	・認証評価別紙様式6-5-4（留学生の項目を除く） ・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への支援に関する	■適切である □改善を要する事項がある

			部局における体制 が確認できる資料	
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	・指導教員・副指導教員一覧 ・看護学専攻会議 ・履修ガイド	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。	・ハラスメント相談員（岡豊キャンパス） ・学生何でも相談窓口（学生課） ＜学生便覧＞	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。	・医学部・医学専攻・医科学専攻・看護学専攻と学生総合支援センター・インクルージョン支援推進室が連携して行う修学支援に関する申合せ	・認証評価別紙様式6-5-4（留学生の項目を除く） ・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への支援に関する	■適切である □改善を要する事項がある

			部局における体制 が確認できる資料	
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	農林海洋科学専攻委員会運営に関わる細則	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。	高知大学ホームページ「ハラスメント」ハラスメント等相談の流れ	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。	高知大学学生総合支援センターインクルージョン支援推進室と各学部等が連携して行う就学支援に関する要項 農林海洋科学専攻と学生総合支援センターインクルージョン支援推進室が連携して行う就学支援に関する申し合わせ	・認証評価別紙様式6-5-4（留学生の項目を除く） ・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への支援に関する	■適切である □改善を要する事項がある

			部局における体制 が確認できる資料	
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	・第68回地域協働学部教授会資料（学部と専攻の委員会を併記した資料） ・高知大学大学院総合人間自然科学研究科地域協働学専攻会議に関する内規（第3条第2項第1号 修学・就職支援部会）	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。	・第68回地域協働学部教授会資料（学部と専攻の委員会を併記した資料）	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。	・第68回地域協働学部教授会資料（学部と専攻の委員会を併記した資料） ・認証評価別紙様式6-5-4 ・高知大学大学院総合人間自然科学研究科地域協働学専攻会議に関する内規（第2条第1項第	・認証評価別紙様式6-5-4（留学生の項目を除く） ・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要	■適切である □改善を要する事項がある

		6号 インクルージョン支援委員会)	と考えられる学生への支援に関する部局における体制が確認できる資料	
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	就職支援_相談員紹介（大学HP） 学生便覧「就職」 履修案内「アドバイザー制度及びオフィスアワー制度」	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。	学生便覧（ハラスメント） ハラスメント相談体制（大学HP） パンフレット「ハラスメントと感じたら」	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。	国立大学法人高知大学における障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領 高知大学学生総合支援センター インクルージョン推進支援室規則 土佐さきがけプログラムと学生総合支援センターインクルージョン支援推進室が連携して行う	・認証評価別紙様式6-5-4（留学生の項目を除く） ・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への支援に関する	■適切である □改善を要する事項がある

		修学支援に関する取扱いについて	部局における体制が確認できる資料	
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	・高知大学アドバイザー教員に関する規則 ・2021年度教職実践高度化専攻（専門職学位課程）ガイドブック（指導教員について） ・教職実践高度化専攻院生指導体制（指導教員・副指導教員一覧）	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。	・高知大学倫理・人権・苦情処理委員会規則 ・高知大学ハラスメント防止委員会規則 ・学生便覧 ・倫理・人権・苦情処理委員会委員名簿 ・ハラスメント防止委員会委員名簿 ・教職実践高度化専攻院生指導体制（指導教員・副指導教員一覧）	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。	・高知大学学生総合支援センターインクルージョン支援推進室と各学部等が連携して行う修学支援に関する要項	・認証評価別紙様式6-5-4（留学生の項目を除く） ・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への支援に関する部局における体制が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	学生1人に対し、指導教員を主指導教員1人、副指導教員1名の計2名体制で、相談・助言を行っているが、次年度入学生からは、主指導教員1人、副指導教員を2名の計3名の体制にし、より多様できめ細かな対応を行う予定である。	2-2-1	2022年度入学生からは、学生1人に対し、主指導教員1人、副指導教員2名の計3名の体制でより多様できめ細かな相談・助言を行う。

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	高知大学アドバイザー教員に関する規則（第3条） 高知大学全学教育機構会議委員会規則（第6条） アドバイザー教員一覧	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。	高知大学倫理・人権・苦情処理委員会規則 高知大学ハラスメント防止委員会規則 学生便覧 P. 83～85 ハラスメント相談員（3名） アドバイザー教員一覧	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援に	認証評価別紙様式 6-5-4	・認証評価別紙様式 6-5-4（留	■適切である □改善を要する事項がある

	ついて、部局における体制が整備されているか。	高知大学学生総合支援センター インクルージョン支援推進室と 各学部等が連携して行う修学支援に関する要項	学生の項目を除く） ・障害のある学生 その他特別な支援 を行うことが必要 と考えられる学生 への支援に関する 部局における体制 が確認できる資料	
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	・指導教員・複数指導教員一覧 ・医学系専攻運営委員会	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。	・ハラスメント相談員（岡豊キャンパス） ・学生何でも相談窓口（学生課） ＜学生便覧＞	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。	・医学部・医学専攻・医科学専攻・看護学専攻と学生総合支援センター・インクルージョン支援推進室が連携して行う修学支援に関する申合せ	・認証評価別紙様式6-5-4（留学生の項目を除く） ・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への支援に関する	■適切である □改善を要する事項がある

			部局における体制が確認できる資料	
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	黒潮圏総合科学専攻会議運営に関する細則（教務委員会）	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。	高知大学ホームページ「ハラスメント」ハラスメント等相談の流れ	・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。	・認証評価別紙様式6-5-4 ・高知大学学生総合支援センター特別修学支援室規則、黒潮圏総合科学専攻と学生総合支援センターインクルージョン支援推進室が連携して行う修学支援に関する申合せ ・全学のチューター制度 ・英語版の履修要項	・認証評価別紙様式6-5-4（留学生の項目を除く） ・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への支援に関する	■適切である □改善を要する事項がある

		・全学の留学生への日本語教育の授業の実施状況の資料 ・全学の支援制度	部局における体制が確認できる資料	
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	・就職支援相談員照会(HP) ・就職マッチング支援について(公募チラシ) ・就活相談Café(チラシ、HP) ・アドバイザー教員によるキャリア形成支援の確立(高知大学における学士課程を通じたキャリア教育の体系構築及び実施要項) ・教職員における就職等進路に関する相談・助言の質向上(学生への就職個別支援 事例集)	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置(規定及び実施内容)・相談について、部局における体制が整備されているか。		・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	□適切である □改善を要する事項がある

2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。	・国立大学法人高知大学における障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領 ・学生便覧 P32（学生総合支援センターインクルージョン支援推進室） ・学生総合支援センターインクルージョン支援推進室（大学HP） ・高知大学学生総合支援センターインクルージョン支援推進室規則 ・高知大学学生総合支援センターインクルージョン支援推進室と各学部等が連携して行う修学支援に関する要項	・認証評価別紙様式 6-5-4（留学生の項目を除く） ・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への支援に関する部局における体制が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。	・学生・教育支援機構会議の資料（活動報告） ・学生総合支援センター企画会議の資料（活動報告）	・センター年報	■適切である □改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。		・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。		・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。		・認証評価別紙様式6-5-4（留学生の項目を除く） ・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への支援に関する	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

			部局における体制 が確認できる資料	
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。	・令和3年度「業務実施報告書」	・センター年報	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	希望創発研究会の研究成果を上げるために新たな取り組みとして、博士課程の参画学生と研究職の参画企業人をマッチングした特別編成チームを5チーム中1チーム作り、環境を整える。	2-2-5	5チーム中1チームを特別編成チームとして活動を行う。
2	令和4年度から希望創発研究会有料化を機に、年度途中に派遣企業担当者との意見交換会を行い、取り組みへの理解を深めると共に、意見交換を踏まえた改善をすることで、次年度以降も継続して参画する後押しとなる取り組みを行う。	2-2-5	年度中旬にオンラインにて派遣企業担当者及び希望創発センター研究会担当教員の意見交換会を実施する。

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	令和4年度の自走化に向け、8月に研究会参画実績のある企業に有料化に対する意見徴収を行い、8社からの有料での派遣を実現した。	2-2-5	令和4年度参画企業人：9名（8社）
2	希望創発研究会の参画学生が哲学的思考やファシリテーションを学ぶ自主ゼミとして発足した学生団体 Seekers（シーカーズ）が、希望創発研究会参画者に向けて高知の地域性、課題等を情報提供する『オンライン公民館』（You Tube 限定公開）を継続的に配信した。	2-2-5	オンライン公民館配信回数：13回

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

2 学生支援に関すること

2-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
2-2-1	就職等進路に関する相談・助言について、部局における体制が整備されているか。	・保健管理センターホームページ：こころの相談室 ・令和3年度 保健管理センター年報（令和4年10月頃発行予定）：精神的健康管理	・部局における就職等進路に関する相談・助言体制が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
2-2-2	学生に対する各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談について、部局における体制が整備されているか。		・部局における各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
2-2-3	障害のある学生その他特別な支援を要する学生に対する支援について、部局における体制が整備されているか。		・認証評価別紙様式6-5-4（留学生の項目を除く） ・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への支援に関する	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

			部局における体制 が確認できる資料	
2-2-5	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。	令和3年度 保健管理センター 年報 （令和4年10月頃発行予定）	・センター年報	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3-1 全学組織が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3-1-2	学生の受入が適切に実施されているか。	・2022年度高知大学入学者選抜に関する要項 ・2022年度学生募集要項 ・学部入試における新型コロナウイルス感染症関連情報 ・各学部の入試実施要領、監督要領等 ・各学部の面接、実技試験等の実施要領等 ・高知大学学士課程入学試験委員会規則、資料 ・高知大学入試企画実施機構規則、資料 ・高知大学判定資料作成専門委員会規則、資料 ・各学部の教授会、入試委員会関係規則、資料 ・各学部の2022年度入試総括（第2回入試企画実施機構会議資料）	・部局の自己点検・評価シート ・認証評価別紙様式5-2-1	■適切である □改善を要する事項がある

		・高知大学アドミッションセンター規則 ・高知大学アドミッションセンター運営委員会規則、資料 ・高知大学受験生サイト ・高知大学アドミッションセンター年報		
3-1-3	実入学者が入学定員に対して適正な数となっているか。	2022 年度入学選抜実施状況（第 1 回入試企画実施機構会議資料） ・各学部からの 2022 年度入試実施状況について（第 2 回入試企画実施機構会議資料） ・高知大学アドミッションセンター年報	・入学定員充足率（認証評価共通基礎データ様式 2） ・部局の自己点検・評価シート	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-1-4	関係者（入学希望者、入学希望者の保護者、高等学校等の進学担当者等）からの意見聴取が実施され、その結果に基づく改善が行われているか。	・高知大学アドミッションセンター年報 ・2022 年度入学選抜実施状況（第 1 回入試企画実施機構会議資料） ・各学部からの 2022 年度入試実施状況について（第 2 回入試企画実施機構会議資料） ・人文社会科学部にて複数コースで FD を開催し入学者選抜方法の改善について検討した。 ・各学部から提出された面接等評価基準	・意見聴取の実施時期、内容等の一覧	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	正解・解答例のホームページ掲載内容誤り	3-1-2	採点及び合否判定にミスはなかったが、ホームページで公表した、一般選抜前期日程(英語)の正解・解答例に誤りがあったため、入試企画実施機構会議で報告し各学部と情報共有をした。資料差し替え時のミスであったため、資料差替発生時には複数名で差し替えたページ全文の再確認を行うこととした。このことは本年度出題者に情報提供するとともに、次年度以降は出題者説明会資料に掲載し、指示を行う。	☐ 検討中 ☐ 対応中 ☒ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	令和7年度入試に向けて、高校新教育課程を履修した者を対象にした、アドミッション・ポリシーと選抜方法を検討・確定する。	3-1-4	令和4年度中に各学部で協議を開始し、新教育課程に準じたアドミッション・ポリシーと選抜方法について検討を行い、令和5年度中に確定する。
2	国際バカロレア資格を有する者を対象とした入試について検討し、実施体制を整える。	3-1-4	令和4年度中に各学部で協議を開始し、受入れ方法並びに実施体制についての検討を行い、令和5年度までに詳細を公表する。

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	人文社会科学部人文科学コース、国際社会コースでは、アドミッションセンターの協力を得つつ、FD研修を行って入学者選抜方法等の改善について検討した。	3-1-4	
2	アドミッションセンターが中心となり、入試企画実施機構会議で国際バカロレア入試の導入について説明を行った。	3-1-4	

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3-1 全学組織が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3-1-2	学生の受入が適切に実施されているか。	・2022年度学生募集要項 ・各専攻の入試実施要領・監督要領等 ・高知大学大学院入学試験委員会規則 ・各専攻の専攻会議規則・議事要録等 ・各専攻の2022年度入試総括 ・部局の自己点検・評価シート	・部局の自己点検・評価シート ・認証評価別紙様式5-2-1	■適切である □改善を要する事項がある
3-1-3	実入学者が入学定員に対して適正な数となっているか。	・2022年度大学院入学試験実施状況 ・各専攻の2022年度入試総括(大学院入試委員会資料) ・部局の自己点検・評価シート	・入学定員充足率(認証評価共通基礎データ様式2) ・部局の自己点検・評価シート	□適切である ■改善を要する事項がある
3-1-4	関係者(入学希望者、入学希望者の保護者、高等学校等の進学担当者等)からの意見聴取が実施され、その結果に基づく改善が行われているか。	・各専攻の2022年度入試総括 ・部局の自己点検・評価シート	・意見聴取の実施時期、内容等の一覧	■適切である □改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	・2022年度入試における研究科全体の実入学者数は入学定員の0.7倍以上であったが、実入学者数が入学定員を大幅に下回る（0.7倍以下）状況の専攻がある。	3－1－3	実入学者数が入学定員を下回る専攻においては、その是正を図る取組み（大学院説明会の実施、大学院HPの充実による教育・研究内容の発信強化等）を策定し実施する。他の専攻においても、入学希望者確保につながる取組みを進める。	☐ 検討中 ☒ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 （ ）

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし。		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし。		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	コロナ禍のなかで、対面での入試が実施できなくなった場合の対応策を決定し、事前に公表し、適切な方法で入試を実施した。	3－1－2 3－1－3	

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3-2-2	学生受入方針に沿った受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	・2022年度高知大学入学者選抜に関する要項 ・2022年度学生募集要項 ・学部入試における新型コロナウイルス感染症関連情報 ・人文社会科学部教授会の運営に関する内規（入試委員会の組織） ・人文社会科学部入学・卒業認定に関する審議委員会規則 ・入試実施要領／面接要領等（全学） ・実施概要、実施手順、説明資料（説明会用資料）等（人文社会科学部各コース）	・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学者の準備に大き	■適切である □改善を要する事項がある

			な影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの	
3-2-3	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	・人文社会科学部教授会の運営に関する内規(学部運営委員会の審議事項) ・2022年度人文社会科学部入試総括(入試企画実施機構会議資料/人文社会科学部教授会資料) ・具体的事例として、2021年度中に複数のコースでFDを開催して入学者選抜方法の改善について検討した。	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等	■適切である □改善を要する事項がある
3-2-4	実入学者数が、入学定員を大幅に超える(1.3倍以上)、又は大幅に下回る(0.7倍以下)状況になっていないか。	・2022年度入学者選抜実施状況(入試企画実施機構会議資料/人文社会科学部教授会資料)	・入学定員充足率が確認できる資料 ・実入学者数が「入学定員の1.3倍以上」、又は「0.7倍以下」になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
3-2-6	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか(センターのみ)。		・センター年報	□適切である □改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	人文科学コースでは、アドミッションセンターの協力も得つつ、計3回のFDを行って入学者選抜方法の改善について検討した。	3-2-3	
2	国際社会コースでは、アドミッションセンターの協力を得て過去の入試実績を分析し、さらに2回のFDを行って入学者選抜方法の改善について検討した。	3-2-3	

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3-2-2	学生受入方針に沿った受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	・2022年度高知大学入学者選抜に関する要項 ・2022年度学生募集要項 ・学部入試における新型コロナウイルス感染症関連情報 ・2022推薦Ⅰ実施概要・非実技試験監督要領・実技試験監督要領 ・2022推薦Ⅱ実施概要（対面不実施で不使用）監督面接要領（対面不実施につき改定したものなし） ・2022一般選抜前期入試実施要領・監督要領等（全学） ・高知大学学士課程入学試験委員会規則 ・高知大学入試企画実施機構規則 ・高知大学判定資料作成専門委員会規則 ・運営に関する委員会等内規	・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学者の準備に大き	■適切である □改善を要する事項がある

		・次年度の入試実施委員選出手順	な影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの	
3-2-3	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	・アドミッションセンター年報 ・2022年度教育学部入試総括（入試企画実施機構会議資料） ・教授会資料	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等	■適切である □改善を要する事項がある
3-2-4	実入学者数が、入学定員を大幅に超える（1.3倍以上）、又は大幅に下回る（0.7倍以下）状況になっていないか。	・アドミッションセンター年報 ・2022年度入学者選抜実施状況 ・2022年度教育学部入試総括（入試企画実施機構会議資料）	・入学定員充足率が確認できる資料 ・実入学者数が「入学定員の1.3倍以上」、又は「0.7倍以下」になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
3-2-6	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	□適切である □改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3-2-2	学生受入方針に沿った受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	高知大学入試企画実施機構規則 高知大学学士課程入学試験委員会規則 理工学部入試委員会運営要項 推薦Ⅰと社会人（未実施）の実施要領（取扱注意） アドミッションセンター規則 アドミッションセンター運営委員会規則	・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学者の準備に大き	■適切である □改善を要する事項がある

			な影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの	
3-2-3	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	アドミッションセンター規則 アドミッションセンター運営委員会規則 理工学部入試委員会運営要項 年報	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等	■適切である □改善を要する事項がある
3-2-4	実入学者数が、入学定員を大幅に超える(1.3倍以上)、又は大幅に下回る(0.7倍以下)状況になっていないか。	令和4年度 入学者選抜実施状況 指標番号6,7:受験者倍率・入学定員充足率	・入学定員充足率が確認できる資料 ・実入学者数が「入学定員の1.3倍以上」、又は「0.7倍以下」になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
3-2-6	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか(センターのみ)。		・センター年報	□適切である □改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3－2－2	学生受入方針に沿った受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	・2022 年度高知大学入学者選抜に関する要項 ・2022 年度学生募集要項 ・学部入試における新型コロナウイルス感染症関連情報 ・2022 年度入試の変更点（選抜要項、HP） ・試験実施に係る実施要項、マニュアル ・高知大学学士課程入学試験委員会規則 ・高知大学入試企画実施機構規則 ・高知大学判定資料作成専門委員会規則 ・医学部入試委員会資料 ・高知大学受験生サイト	・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学者の準備に大き	■適切である □改善を要する事項がある

			な影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの	
3-2-3	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	・アドミッションセンター年報 ・2022 年度医学部入試総括（入試企画実施機構会議資料） ・医学部入試委員会資料 ・2023 年度入試の変更点（選抜要項、HP）	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-4	実入学者数が、入学定員を大幅に超える（1.3 倍以上）、又は大幅に下回る（0.7 倍以下）状況になっていないか。	・アドミッションセンター年報 ・2022 年度入学者選抜実施状況 ・各学部の 2022 年度入試総括（入試企画実施機構会議資料）	・入学定員充足率が確認できる資料 ・実入学者数が「入学定員の 1.3 倍以上」、又は「0.7 倍以下」になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-6	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3－2－2	学生受入方針に沿った受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	入学試験実施要領 入学者選抜に関する要綱 面接評価基準	・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学者の準備に大き	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

			な影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの	
3-2-3	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	農林海洋科学部教授会運営に関する細則（入試委員会）	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-4	実入学者数が、入学定員を大幅に超える（1.3倍以上）、又は大幅に下回る（0.7倍以下）状況になっていないか。	入試実施状況の総括	・入学定員充足率が確認できる資料 ・実入学者数が「入学定員の1.3倍以上」、又は「0.7倍以下」になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-6	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3-2-2	学生受入方針に沿った受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	・2022年度高知大学入学者選抜に関する要項 ・2022年度学生募集要項 ・学部入試における新型コロナウイルス感染症関連情報 ・2023年度入試の変更点（選抜要項、HP） ・各学部の入試実施要領・監督要領等 ・各学部の面接・実技試験等の実施要領等 ・高知大学学士課程入学試験委員会規則 ・高知大学入試企画実施機構規則	・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学者の準備に大きな影響を及ぼす場合に2年程度前に	■適切である □改善を要する事項がある

			予告・公表されたもので直近のもの	
3-2-3	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	・アドミッションセンター年報 ・2022年度地域協働学部入試総括 (入試企画実施機構会議資料) ・地域協働学部教授会運営に関する内規(第3条第1項第4号入試委員会) ・2023年度入試の変更点(選抜要項、HP)	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-4	実入学者数が、入学定員を大幅に超える(1.3倍以上)、又は大幅に下回る(0.7倍以下)状況になっていないか。	・アドミッションセンター年報 ・2022年度入学者選抜実施状況 (入試企画実施機構会議資料) ・2022年度地域協働学部入試総括 (入試企画実施機構会議資料)	・入学定員充足率が確認できる資料 ・実入学者数が「入学定員の1.3倍以上」、又は「0.7倍以下」になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-6	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか(センターのみ)。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3－2－2	学生受入方針に沿った受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	・人文社会科学専攻各種委員会に関する内規（入試委員会） ・入試実施要項 ・問題作成要領 ・試験に関わる注意事項 ・大学院入試監督者要領及び注意事項（オンライン） ・作問チェック項目（入試委員会用）	・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学志願者の準備に大き	■適切である □改善を要する事項がある

			な影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの	
3-2-3	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	・人文社会科学専攻各種委員会に関する内規（総務委員会の審議事項） ・入試報告書（改善策）	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-4	実入学者数が、入学定員を大幅に超える（1.3倍以上）、又は大幅に下回る（0.7倍以下）状況になっていないか。	専攻会議資料・議事録	・入学定員充足率が確認できる資料 ・実入学者数が「入学定員の1.3倍以上」、又は「0.7倍以下」になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-6	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	更なる入学希望者獲得のための情報発信の強化	3－2－4	本学部学生全学年向けに大学院情報の発信強化（募集要項の要点、近年の研究テーマ等を周知）。

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	実入学者数が、入学定員を大幅に超える（1.3 倍以上）、又は大幅に下回る（0.7 倍以下）状況になっていない。	3－2－4	2回の大学院入試説明会を行い、志願者・入学者の増加につなげた。

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3-2-2	学生受入方針に沿った受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	高知大学入試企画実施機構規則 高知大学大学院入学試験委員会規則 学生募集要項 高知大学総合人間自然科学研究科修士課程理工学専攻会議規則 アドミッションセンター規則 アドミッションセンター運営委員会規則	・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学者の準備に大き	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

			な影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの	
3-2-3	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	アドミッションセンター規則 アドミッションセンター運営委員会規則 高知大学総合人間自然科学研究科修士課程理工学専攻会議規則 年報	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等	■適切である □改善を要する事項がある
3-2-4	実入学者数が、入学定員を大幅に超える(1.3倍以上)、又は大幅に下回る(0.7倍以下)状況になっていないか。	入学試験委員会資料 指標番号6,7:受験者倍率・入学定員充足率	・入学定員充足率が確認できる資料 ・実入学者数が「入学定員の1.3倍以上」、又は「0.7倍以下」になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
3-2-6	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか(センターのみ)。		・センター年報	□適切である □改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	実入学者数が、入学定員を大幅に超える（1.3倍以上）、又は大幅に下回る（0.7倍以下）状況になっていない。	3－2－4	大学院進学説明会を行い、進学者の確保に繋げた。

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3-2-2	学生受入方針に沿った受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	・2022 年度学生募集要項 ・医科学専攻会議議事要録 ・医科学専攻入試実施要領・監督要領	・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学者の準備に大き	■適切である □改善を要する事項がある

			な影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの	
3-2-3	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	・医学系専攻運営委員会規則 ・医科学専攻会議規則 ・医学系専攻運営委員会議事要録 ・医科学専攻会議議事要録	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-4	実入学者数が、入学定員を大幅に超える（1.3倍以上）、又は大幅に下回る（0.7倍以下）状況になっていないか。	・2022年度大学院入学試験実施状況	・入学定員充足率が確認できる資料 ・実入学者数が「入学定員の1.3倍以上」、又は「0.7倍以下」になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-6	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3-2-2	学生受入方針に沿った受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	・2022 年度学生募集要項 ・看護学専攻会議議事要録 ・看護学専攻入試実施要領・監督要領	・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学者の準備に大き	■適切である □改善を要する事項がある

			な影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの	
3-2-3	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	・看護学専攻会議規則 ・修学支援・教育の内部質保証委員会規則	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-4	実入学者数が、入学定員を大幅に超える（1.3倍以上）、又は大幅に下回る（0.7倍以下）状況になっていないか。	・2022年度大学院入学試験実施状況	・入学定員充足率が確認できる資料 ・実入学者数が「入学定員の1.3倍以上」、又は「0.7倍以下」になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-6	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3-2-2	学生受入方針に沿った受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	・入学試験実施要項 ・学生募集要項 ・面接審査基準	・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学者の準備に大き	■適切である □改善を要する事項がある

			な影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの	
3-2-3	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	・農林海洋科学専攻会議運営に関する細則（専攻入試委員会） ・入試実施状況の総括	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-4	実入学者数が、入学定員を大幅に超える（1.3倍以上）、又は大幅に下回る（0.7倍以下）状況になっていないか。	・入試実施状況の総括より問題なし	・入学定員充足率が確認できる資料 ・実入学者数が「入学定員の1.3倍以上」、又は「0.7倍以下」になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-6	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	更なる入学希望者獲得のための情報発信の強化	3－2－4	・大学院説明会を行い、説明会後も録画資料の視聴により情報の反復や当日参加できない学生への対応を行う。今後もコンテンツとして活用し、内容を充実させていく計画である。 ・大学院入試について、学部2～3年生も英語試験の事前準備に取り組めるよう、出願に際した TOEIC 試験に関する情報を説明会で周知し、HP にも掲載している。

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3-2-2	学生受入方針に沿った受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	・専攻会議資料・議事録 ・2022 年度学生募集要項 ・高知大学大学院総合人間自然科学研究科修士課程地域協働学専攻会議運営に関する内規（第2条第1項第5号：入試委員会） ・高知大学大学院総合人間自然科学研究科修士課程地域協働学専攻入学・修了認定等に関する審議委員会内規	・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学者の準備に大き	■適切である □改善を要する事項がある

			な影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの	
3-2-3	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。	・専攻会議資料・議事録 ・高知大学大学院総合人間自然科学研究科修士課程地域協働学専攻会議運営に関する内規（第2条第1項第1号：専攻統括会議、第5号：入試委員会）	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-4	実入学者数が、入学定員を大幅に超える（1.3倍以上）、又は大幅に下回る（0.7倍以下）状況になっていないか。	・専攻会議資料・議事録 ・大学院説明会の開催記録 ・2022年度大学院入学試験実施状況 ・高知大学大学院総合人間自然科学研究科修士課程地域協働学専攻会議運営に関する内規（第2条第1項第1号：専攻統括会議、第5号：入試委員会）	・入学定員充足率が確認できる資料 ・実入学者数が「入学定員の1.3倍以上」、又は「0.7倍以下」になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料	☐ 適切である ☒ 改善を要する事項がある
3-2-6	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	実入学者数が、入学定員を大幅に超える（1.3倍以上）、又は大幅に下回る（0.7倍以下）状況になっていないか。 入学定員3名のところ、2022年度入学者数2名であり、充足率は0.67倍であった。	3-2-4	説明会の開催回数を増やす他、個別教員による学部学生、社会人への働きかけを強化する。 (2021年度も実施済みで、今後も継続して追求)	☐ 検討中 ☒ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3－2－2	学生受入方針に沿った受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	・ 2022 年度学生募集要項 面接試験の方法及び配点、試験の時間帯 ・ TSP 運営委員会規則 ・ TSP コース実施委員会規則	・ 面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ・ 入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ・ 入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ・ 学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学者の準備に大き	■ 適切である □ 改善を要する事項がある

			な影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの	
3-2-3	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	・TSP 運営委員会規則 ・TSP コース実施委員会規則	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等	■適切である □改善を要する事項がある
3-2-4	実入学者数が、入学定員を大幅に超える(1.3倍以上)、又は大幅に下回る(0.7倍以下)状況になっていないか。	・2022年度大学院入学試験実施状況 ・TSP 運営委員会規則 ・TSP コース実施委員会規則	・入学定員充足率が確認できる資料 ・実入学者数が「入学定員の1.3倍以上」、又は「0.7倍以下」になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
3-2-6	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか(センターのみ)。		・センター年報	□適切である □改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3-2-2	学生受入方針に沿った受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	・2022年度学生募集要項 ・2022年度教職大学院教職実践高度化専攻入学者選抜実施要項 ・2022年度高知大学大学院総合人間自然科学研究科教職実践高度化専攻（専門職学位課程）入学者選抜 監督要領	・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学者の準備に大き	■適切である □改善を要する事項がある

			な影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの	
3-2-3	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	・2022年度 教職大学院教職実践高度化専攻入学者選抜実施要項 ・教職実践高度化専攻の2022年度入試総括（大学院入試委員会資料）	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等	■適切である □改善を要する事項がある
3-2-4	実入学者数が、入学定員を大幅に超える（1.3倍以上）、又は大幅に下回る（0.7倍以下）状況になっていないか。	・2022年度大学院総合人間自然科学研究科入学試験状況（大学院入試委員会資料）	・入学定員充足率が確認できる資料 ・実入学者数が「入学定員の1.3倍以上」、又は「0.7倍以下」になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
3-2-6	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	□適切である □改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3-2-2	学生受入方針に沿った受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	高知大学入試企画実施機構規則 高知大学大学院入学試験委員会規則 学生募集要項 高知大学総合人間自然科学研究科博士課程応用自然科学専攻会議規則 アドミッションセンター規則 アドミッションセンター運営委員会規則	・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学者の準備に大き	■適切である □改善を要する事項がある

			な影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの	
3-2-3	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	アドミッションセンター規則 アドミッションセンター運営委員会規則 高知大学総合人間自然科学研究科博士課程応用自然科学専攻会議規則 年報	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等	■適切である □改善を要する事項がある
3-2-4	実入学者数が、入学定員を大幅に超える(1.3倍以上)、又は大幅に下回る(0.7倍以下)状況になっていないか。	入学試験委員会資料 指標番号6,7:受験者倍率・入学定員充足率	・入学定員充足率が確認できる資料 ・実入学者数が「入学定員の1.3倍以上」、又は「0.7倍以下」になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
3-2-6	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか(センターのみ)。		・センター年報	□適切である □改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	実入学者数が、入学定員を大幅に超える（1.3倍以上）、又は大幅に下回る（0.7倍以下）状況になっていない。	3－2－4	大学院進学説明会を行い、進学者の確保に繋げた。

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3-2-2	学生受入方針に沿った受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	・2022 年度学生募集要項 ・医学専攻会議議事要録 ・医学専攻入試実施要領・監督要領	・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学者の準備に大き	■適切である □改善を要する事項がある

			な影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの	
3-2-3	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	・医学系専攻運営委員会規則 ・医学専攻会議規則 ・医学系専攻運営委員会議事要録 ・医学専攻会議議事要録	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-4	実入学者数が、入学定員を大幅に超える（1.3倍以上）、又は大幅に下回る（0.7倍以下）状況になっていないか。	・2022年度大学院入学試験実施状況	・入学定員充足率が確認できる資料 ・実入学者数が「入学定員の1.3倍以上」、又は「0.7倍以下」になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-6	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3－2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3－2－2	学生受入方針に沿った受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	・入学試験実施要項 ・学生募集要項 ・面接審査基準	・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学者の準備に大き	■適切である □改善を要する事項がある

			な影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの	
3-2-3	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	・高知大学大学院総合人間自然科学研究科黒潮圏総合科学専攻会議運営に関する細則（教務委員会） ・入試実施状況の総括	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-4	実入学者数が、入学定員を大幅に超える（1.3倍以上）、又は大幅に下回る（0.7倍以下）状況になっていないか。	入試実施状況の総括	・入学定員充足率が確認できる資料 ・実入学者数が「入学定員の1.3倍以上」、又は「0.7倍以下」になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-6	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。		・センター年報	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

3 学生受入に関すること

3-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
3-2-2	学生受入方針に沿った受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。	・高知大学学士課程入学試験委員会規則 ・高知大学入試企画実施機構規則 ・高知大学アドミッションセンター規則 ・高知大学アドミッションセンター運営委員会規則	・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学者の準備に大き	■適切である □改善を要する事項がある

			な影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの	
3-2-3	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	各学部から提出された面接評価基準等	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-4	実入学者数が、入学定員を大幅に超える（1.3倍以上）、又は大幅に下回る（0.7倍以下）状況になっていないか。	・2022年度入学選抜実施状況（第1回入試企画実施機構会議資料） ・各学部からの2022年度入試実施状況について（第2回入試企画実施機構会議資料）	・入学定員充足率が確認できる資料 ・実入学者数が「入学定員の1.3倍以上」、又は「0.7倍以下」になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
3-2-6	活動方針に基づいた活動が行われ、その結果による成果が出ているか（センターのみ）。	高知大学アドミッションセンター年報	・センター年報	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	令和7年度入試に向けて、高校新教育課程を履修した者を対象にした、アドミッション・ポリシーと選抜方法を検討・確定する。	3-2-3	令和4年度中に各学部で協議を開始し、新教育課程に準じたアドミッション・ポリシーと選抜方法について検討を行い、令和5年度中に確定する。
2	国際バカロレア資格を有する者を対象とした入試について検討し、実施体制を整える。	3-2-3	令和4年度中に各学部で協議を開始し、受入れ方法並びに実施体制についての検討を行い、令和5年度までに詳細を公表する。

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

4 施設整備に関すること

4-1 全学組織が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
4-1-3	外灯や防犯カメラの設置等、安全・防犯面への配慮がなされているか。	4-1-3 (1) 外灯配置図 4-1-3 (2) モニターカメラ設置状況調査結果 4-1-3 (3) 国立大学法人高知大学におけるモニターカメラ設置規則	・認証評価別紙様式4-1-3 ・安全・防犯面への配慮がなされていることが確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
4-1-4	施設のバリアフリー化について、障害のある学生等の利用者が円滑に利用できるよう配慮がなされているか。	4-1-4 高知大学バリアフリーマップ	・認証評価別紙様式4-1-3 ・バリアフリー化の状況が確認できる資料	■適切である □改善を要する事項がある
4-1-5	関係者（教職員、学生、施設利用者等）からの意見聴取の実施結果に基づく改善が行われているか。	4-1-5 令和3年度営繕依頼一覧	・意見聴取の実施時期、内容等の一覧	■適切である □改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

5 地域連携に関すること

5-1 全学組織が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
5-1-1	地域連携の方針が、大学の理念や目的を踏まえて具体的に策定されているか。	中期目標・中期計画、年度計画	中期目標・中期計画	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
5-1-2	地域連携の方針に基づいた活動が適切に実施されているか。	年度計画進捗状況報告書、センター運営戦略室会議及び連絡会資料、ファクトブック、産学連携等実施状況調査、高知県産学官民連携センター「ココプラ」報告書	国立大学法人等の教育研究評価に使用するデータ調査票（公開講座）、同（講演会展示会）など地域連携に関する活動の実績が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
5-1-3	活動の実績及び活動への参加者等の満足度を踏まえて、成果（アウトカム）が生じているか。	年度計画進捗状況報告書、土佐FBC成果発表会資料、各種展示会資料、知財活動実績	各種事業報告書など、地域連携に関する活動から生じた成果が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
5-1-4	地域連携の方針や活動の状況が適切に公表・周知されているか。	年度計画進捗状況報告書、センター連絡会資料、土佐FBC成果発表会資料、新聞記事一覧	各種事業報告書など、地域連携に関する情報を公表し	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

			ていることが分かる資料	
5-1-5	改善のための具体的取組が行われているか。	土佐 FBC 各種会議資料、次世代地域創造センター運営戦略室会議議事要録	土佐 FBC 事業企画運営委員会議事録など改善のための取組が分かる資料、各種事業報告書	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	土佐 FBC におけるコース再編	5-1-5	コロナ禍において令和3年度に改編したオンライン受講コースを更に発展させ、令和4年度から全てのコースをオンライン受講に再編し、一定割合を県外事業者に開放することで相互交流等によるシナジーを発揮することを期待している。また、これまで築いてきた修了生等のネットワークを発揮し、県外からの受講に留まらず海外からも部分受講コース受講生を受け入れる予定。
2	学内資源の詳細把握を通じた地域連携の適切な実施	5-1-2	学内へのインターナルマーケティングを通じて学内資源の把握を計画
3	新たな共同研究パートナー開拓	5-1-3	外部リソースを用いた効率的・効果的な企業マッチングを実施
4	組織的産学連携の更なる実質化	5-1-2	担当者同士の進捗管理を実施するため、定期的な意見交換を計画
5	地域連携の活動状況の発信	5-1-4	発表会等のオンライン化による全国発信を計画

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	FBC 受講生・修了生による機能性表示食品の登録	5-1-5	県内企業における機能性表示食品の登録件数において令和3年度末で14件中11件が修了生企業

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

6 国際連携に関すること

6-1 全学組織が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
6-1-1	留学生に対する学習支援について、体制が整備されているか。	・部局の自己点検・評価シート ・認証評価別紙 ・HP 公開情報 ・補足別紙	・認証評価別紙様式6-5-4（留学生の項目のみ）	■適切である □改善を要する事項がある
6-1-2	留学生への生活支援等について、体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っているか。	・外国人留学生の手引き（英語版&日本語版）、HP 公開情報 ・国際交流基金採択一覧 ・認証評価別紙 ・補足別紙	・認証評価別紙様式4-2-3	■適切である □改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

7 研究に関すること

7-1 全学組織が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
7-1-3	研究者（教員・研究員等）を育成する制度を策定し、実施しているか。	・教育研究活性化事業（若手研究者スタートアップ支援、研究成果の公開促進サポート） ・研究顕彰制度（研究功績者賞、若手教員研究優秀賞、大学院生研究奨励賞）	研究者を育成するための制度の内容が分かる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-1-4	全学組織に裁量のある研究費により部局や教員個人の研究を支援する制度を策定し、実施しているか。	・第3期研究拠点プロジェクト報告書 ・理事裁量経費（異分野融合型プロジェクト他年度計画実施分）年度計画実施状況報告書 ・学長裁量経費（学内拠点形成支援プログラム公募分）採択事業一覧	全学で実施するプロジェクトなど全学組織に裁量のある研究費により研究を支援していることが分かる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-1-5	科研費等の外部資金の獲得（特許の申請を含む。）を推進するための制度を策定し、実施しているか。	・科研費説明会の開催 ・ブラッシュアップ制度 ・インセンティブ経費の配分 ・科研費採択課題研究計画書の閲覧実施	外部資金獲得のための説明会の開催など、外部資金の獲得を推進していることが分かる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-1-7	共同利用機器の修理や更新等、研究環境の整備を推進する制度を策定し、実施しているか。	・教育研究活性化経費等による設備の更新・維持に関する公募要領及び実施状況	共同利用機器の修理や更新等を推進していることが分かる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-1-8	部局構成員の研究倫理等を向上させる取組を行っているか。	・研究倫理教育等実施に関する基本方針 ・高知大学競争的資金等不正防止計画実施状況報告書	高知大学競争的資金等不正防止計画の実績報告書、研	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

		・研修会・説明会の実施状況	究倫理に関する研修の実施状況等	
--	--	---------------	-----------------	--

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

7 研究に関すること

7-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
7-2-3	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	論文・著書・学会発表件数 (IR・評価室提供自己点検評価データベース(非公表)) 部門プロジェクト活動報告 (年度計画報告書)	例えば「国際的な研究を推進する」という目的を掲げる部局であれば国際共著論文や国際学会での発表件数の推移など、部局が行う研究活動が想定する成果をあげていることを確認できる資料(年報、報告書等)	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-2-4	活動方針に基づいた研究支援活動が行われ、その結果による成果が出ているか(総合研究センターのみ)。		・センター年報など活動実績が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

7 研究に関すること

7-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
7-2-3	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	○著書、出版物数、論文数 ○学会、研究発表会、報告会、シンポジウム等の開催数、参加者数 ○研究に関わって訪問した機関、学校数 ○学外協力者数 （自己点検評価データベース）	例えば「国際的な研究を推進する」という目的を掲げる部局であれば国際共著論文や国際学会での発表件数の推移など、部局が行う研究活動が想定する成果をあげていることを確認できる資料（年報、報告書等）	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-2-4	活動方針に基づいた研究支援活動が行われ、その結果による成果が出ているか（総合研究センターのみ）。		・センター年報など活動実績が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	研究の目標	7-2-1	地域のリソースを活用しながら教育の環境を整える 地域教育振興支援モデルの構築 を目指して基礎研究を進めるとともに、附属学校園等との連携研究、実践研究を推進する。

2	研究の質及び量	7－2－3	共同研究の件数を追加
---	---------	-------	------------

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	日本画春季展	7－2－3	春季展最高賞

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

7 研究に関すること

7-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
7-2-3	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	理工学部門教員評価シート及び教員データベース	例えば「国際的な研究を推進する」という目的を掲げる部局であれば国際共著論文や国際学会での発表件数の推移など、部局が行う研究活動が想定する成果をあげていることを確認できる資料（年報、報告書等）	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-2-4	活動方針に基づいた研究支援活動が行われ、その結果による成果が出ているか（総合研究センターのみ）。		・センター年報など活動実績が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	前年度に引続き、複数の共有設備において、故障により通常使用ができない状況が発生しており、研究活動に支障をきたしている。また、コロナ禍の影響により利用者負担による維持費の支払いが困難なケースもある。	7-1-7	前年度に引続き、部門経費による公募を行い、既存の設備・システム等にかかる修理費・維持費等を対象として、緊急を要するもの、前任の教員から管理を引き継いだ設備・システム等で維持すべきものを優先して補助を行った。	☐ 検討中 ☐ 対応中 ☒ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	7-2-3	量の指標となる論文数（当該年度の1年間に引続き翌年度も所属している構成員（特任等は除く）の成果のみ勘案）は、令和3年度176編（令和2年度：184編、令和元年度：174編）とほぼ横ばいであるが、構成員一人あたりの論文数は増加傾向にある。また、Scopusによれば、量のみならず質的な指標ともなるh-indexが20以上の構成員が9名おり、該当する構成員が多分野にわたっていることから、質についても堅調であることがうかがえる。
2	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	7-2-3	令和3年度高知大学広報顕彰制度において構成員（令和2年度まで特任助教として在籍）が優秀広報貢献賞を受賞した。中高大学生や社会人と協働しつつ基礎科学の面白さを国内外に向けて情報発信するというユニークな活動は理工学部門研究談話会でも紹介され、構成員の広報マインドの醸成、さらには大学が掲げる広報活動の活性化と一層の発展に資するものと評価された。

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

7 研究に関すること

7-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
7-2-3	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	人事評価基礎資料目録 (農林海洋科学部独自資料)	例えば「国際的な研究を推進する」という目的を掲げる部局であれば国際共著論文や国際学会での発表件数の推移など、部局が行う研究活動が想定する成果をあげていることを確認できる資料（年報、報告書等）	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-2-4	活動方針に基づいた研究支援活動が行われ、その結果による成果が出ているか（総合研究センターのみ）。		・センター年報など活動実績が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	農学部門独自の個人・研究プロジェクト	7-2-3	予算を増額して部門構成員の研究の活性化を図る。
2	雑誌投稿料および英文校閲料支援の増額	7-2-3	より多くの部門構成員による成果公表が促進されるように増額する。
3	若手研究者支援	7-2-3	今年度（2022年度）採用教員に研究開始を支援するための研究費を支援する。

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	令和3年度における査読有の学術論文数は67報で、令和元年の44報、令和2年の55報と比べ着実に増加している。英文論文数の割合は82%と令和2年の65%より増加しており、世界を意識した情報発信をしているといえる。一方地域に密着した研究ではその成果をニューズレターとして発行している。	7-2-3	
2	令和3年度における著書（分担含む）は15あり、執筆の依頼は当該分野において著者が客観的に高く評価されていることを表しているといえる。	7-2-3	
3	学系プロジェクト「中山間地集落社会の維持と生物多様性保全」は、令和3年度に学術論文6報と報告書2報および学会発表を14件行っている。成果を地域に還元するため今まで定期的にニューズレターを発行してきた。またこれまでの成果を社会に還元するため公開セミナーを開催した。	7-2-3	
4	学系プロジェクト「バイオマス-TOSA」は、令和3年度学術論文19報、著書2報および学会発表18件の成果を公表した。顕著な業績として高いIF(4.273)雑誌Harmful Algaeへの論文掲載があった。さらに計3名の指導学生が、日本ベントス学会・プランクトン学会合同大会(令和3年9月17日)と森林利用学会学術研究発表会(令和3年11月27日)では学生発表優秀賞や国際有毒有害藻類学会(令和3年10月10-15日)において最優秀プレゼンテーション賞を受賞しており研究成果が客観的に高く評価されている。本プロジェクトに関連して、日本学術振興会の二国間共同研究の採択に至っている。	7-2-3	・高いIF(4.273)雑誌Harmful Algaeへの論文掲載 ・指導学生の学会における学生発表優秀賞ならびに最優秀プレゼンテーション賞の受賞 ・日本学術振興会の二国間共同研究の採択

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

7 研究に関すること

7-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
7-2-3	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	教員データベース（教員自己点検・評価システム）の教員活動に関するデータ（令和3年度分）	例えば「国際的な研究を推進する」という目的を掲げる部局であれば国際共著論文や国際学会での発表件数の推移など、部局が行う研究活動が想定する成果をあげていることを確認できる資料（年報、報告書等）	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-2-4	活動方針に基づいた研究支援活動が行われ、その結果による成果が出ているか（総合研究センターのみ）。		・センター年報など活動実績が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	医療用具の開発に関する複数の研究成果を特許化し、関連企業との共同研究を多数推進している。	7-2-1	
2	中咽頭癌の予後とヒトパピローマウイルス（HPV）感染について、HPV 感染例は予後良好とされているがウイルス量が少ない症例は予後不良であることを見出し論文報告した（Cancer Science 112: 4404-4417, 2021）。現在この知見は本学附属病院の患者の予後予測に貢献している。	7-2-1	
3	海洋生物由来の生理活性物質の細胞増殖抑制作用を新たに見出し、医学海洋学融合型創薬研究を推進している。	7-2-2	
4	本学理工学部の実験室との共同研究により、老化機構におけるミトコンドリア活性の影響を明らかにして国際誌への英語論文を発表した（Molecular and Cellular Biology, 41: e0004721, 2021）。	7-2-2	
5	概算要求プロジェクト「先端医療学推進センターにおける医療イノベーション創出と人材育成 -臍帯血幹細胞を用いる包括的再生医療研究拠点の構築-」の代表者として、医学部、先端医療学推進センター、医学部附属病院、総合研究センターの教員が一体となった脳性麻痺治療の研究開発に取り組んできた。	7-2-2	
6	国際誌への英語論文を令和3年度に26報発表した。	7-2-3	

7	科学研究費補助金を教員数に対し高い割合で獲得し研究を推進している。	7－2－3	
---	-----------------------------------	-------	--

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

7 研究に関すること

7-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
7-2-3	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	部局活動実績総括表及び個人活動実績総括表	例えば「国際的な研究を推進する」という目的を掲げる部局であれば国際共著論文や国際学会での発表件数の推移など、部局が行う研究活動が想定する成果をあげていることを確認できる資料（年報、報告書等）	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-2-4	活動方針に基づいた研究支援活動が行われ、その結果による成果が出ているか（総合研究センターのみ）。		・センター年報など活動実績が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

7 研究に関すること

7-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
7-2-3	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	「教員の自己点検・評価」における部局活動実績総括表 「教員の自己点検・評価」における教員データ	例えば「国際的な研究を推進する」という目的を掲げる部局であれば国際共著論文や国際学会での発表件数の推移など、部局が行う研究活動が想定する成果をあげていることを確認できる資料（年報、報告書等）	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-2-4	活動方針に基づいた研究支援活動が行われ、その結果による成果が出ているか（総合研究センターのみ）。		・センター年報など活動実績が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

7 研究に関すること

7-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
7-2-3	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	「教員の自己点検・評価」における部局活動実績総括表 「教員の自己点検・評価」における教員データ	例えば「国際的な研究を推進する」という目的を掲げる部局であれば国際共著論文や国際学会での発表件数の推移など、部局が行う研究活動が想定する成果をあげていることを確認できる資料（年報、報告書等）	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-2-4	活動方針に基づいた研究支援活動が行われ、その結果による成果が出ているか（総合研究センターのみ）。		・センター年報など活動実績が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

7 研究に関すること

7-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
7-2-3	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	高知大学医学部看護学科年報	例えば「国際的な研究を推進する」という目的を掲げる部局であれば国際共著論文や国際学会での発表件数の推移など、部局が行う研究活動が想定する成果をあげていることを確認できる資料（年報、報告書等）	☐ 適切である ☒ 改善を要する事項がある
7-2-4	活動方針に基づいた研究支援活動が行われ、その結果による成果が出ているか（総合研究センターのみ）。		・センター年報など活動実績が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	学会発表数は、COVID-19の世界的流行前に戻りつつあるが、論文数は回復していない。	7-2-3	COVID-19の世界的流行に伴い研究が制限され、予定していた研究が施行できなかったことによるもので、感染状況が終息に向かえば、論文数は改善すると思われる。	☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☒ その他 （対策を要しない）

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	科学研究費の採択率の向上	7-2-3	科研費の採択率は高い傾向にあるが、さらに向上させるためにこれからも学系・部門内の採択経験者によるブラッシュアップを続ける。

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	科学研究費の採択率を向上させるために学系・部門内の採択経験者によるブラッシュアップなどを行った結果、令和3年度、基盤研究（C）が新たに3課題採択となった。	7－2－3	教員の1/3が科研の研究代表者であり、分担者を含めると半数以上が科研に関わっている。

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

7 研究に関すること

7-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
7-2-3	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	著書・学術論文・学会発表の総件数、学際的成果の件数及び黒潮圏を対象とした国際的研究成果の件数（自己点検評価データベース）	例えば「国際的な研究を推進する」という目的を掲げる部局であれば国際共著論文や国際学会での発表件数の推移など、部局が行う研究活動が想定する成果をあげていることを確認できる資料（年報、報告書等）	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-2-4	活動方針に基づいた研究支援活動が行われ、その結果による成果が出ているか（総合研究センターのみ）。		・センター年報など活動実績が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	「黒潮圏科学に基づく総合的海洋管理研究拠点」プロジェクトの成果として、多くの部門教員が執筆に携わった英文書籍が令和4年3月に発行された。	7-2-3	
2	査読システムを備えた雑誌「黒潮圏科学／Kuroshio Science」を年2回刊行し、学際的な研究成果を発表する場を整備している。	7-2-3	
3	高知大学・台湾・フィリピンが持ち回りで黒潮圏科学国際シンポジウムを開催し、黒潮圏を対象とする国際的な研究成果を発表する場を用意している。	7-2-3	

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

7 研究に関すること

7-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
7-2-3	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	- 論文・著書・学会発表の件数 - IR・評価室から提供のあった教員データベース（教員の自己点検・評価システム） - 高知大学 教育研究部総合科学系 地域協働教育学部門 研究論集（毎年度発行）	例えば「国際的な研究を推進する」という目的を掲げる部局であれば国際共著論文や国際学会での発表件数の推移など、部局が行う研究活動が想定する成果をあげていることを確認できる資料（年報、報告書等）	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-2-4	活動方針に基づいた研究支援活動が行われ、その結果による成果が出ているか（総合研究センターのみ）。		センター年報など活動実績が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

7 研究に関すること

7-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
7-2-3	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	教員データベース（教員自己点検・評価システム）による	例えば「国際的な研究を推進する」という目的を掲げる部局であれば国際共著論文や国際学会での発表件数の推移など、部局が行う研究活動が想定する成果をあげていることを確認できる資料（年報、報告書等）	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-2-4	活動方針に基づいた研究支援活動が行われ、その結果による成果が出ているか（総合研究センターのみ）。		・センター年報など活動実績が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	数多くの企業との共同研究・受託研究を行っている教員が複数名存在する。	7－2－3	

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

7 研究に関すること

7-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
7-2-3	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	論文・著書・学会発表件数等 (教員自己点検・評価データベース)	例えば「国際的な研究を推進する」という目的を掲げる部局であれば国際共著論文や国際学会での発表件数の推移など、部局が行う研究活動が想定する成果をあげていることを確認できる資料（年報、報告書等）	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-2-4	活動方針に基づいた研究支援活動が行われ、その結果による成果が出ているか（総合研究センターのみ）。		・センター年報など活動実績が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

7 研究に関すること

7-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
7-2-3	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	・センター等の活動方針等（平成28年度～平成33年度） ・教員データベース（教員自己点検・評価システム）の活動情報	例えば「国際的な研究を推進する」という目的を掲げる部局であれば国際共著論文や国際学会での発表件数の推移など、部局が行う研究活動が想定する成果をあげていることを確認できる資料（年報、報告書等）	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-2-4	活動方針に基づいた研究支援活動が行われ、その結果による成果が出ているか（総合研究センターのみ）。	総合研究センター活動報告書	・センター年報など活動実績が確認できる資料	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	動物実験施設は、マウスの飼育維持に注力しており、高知大学における動物実験へ多大な貢献をしている。	7-2-4	

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

7 研究に関すること

7-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
7-2-3	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	高知大学防災推進センター年報	例えば「国際的な研究を推進する」という目的を掲げる部局であれば国際共著論文や国際学会での発表件数の推移など、部局が行う研究活動が想定する成果をあげていることを確認できる資料（年報、報告書等）	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-2-4	活動方針に基づいた研究支援活動が行われ、その結果による成果が出ているか（総合研究センターのみ）。		・センター年報など活動実績が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	論文等の研究業績の更なる増加と質の向上	7-2-3	センター内で公募するセンタープロジェクト経費等による、新たな研究プロジェクトの構築及び実施

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	防災科学技術研究所及び大学、民間企業と共同で実施した「蛇籠擁壁の耐震設計」に関する研究	7-2-3	研究機関のみならず、JICA や地方公共団体も巻き込んだ共同研究である。

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

7 研究に関すること

7-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
7-2-3	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	令和4年度地方大学・地域産業創生交付金 概要説明資料（継続申請） 【抜粋版（R4.3.31時点）】	例えば「国際的な研究を推進する」という目的を掲げる部局であれば国際共著論文や国際学会での発表件数の推移など、部局が行う研究活動が想定する成果をあげていることを確認できる資料（年報、報告書等）	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-2-4	活動方針に基づいた研究支援活動が行われ、その結果による成果が出ているか（総合研究センターのみ）。		・センター年報など活動実績が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

7 研究に関すること

7-2 部局が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
7-2-3	論文・著書・学会発表等の研究成果の質及び量が大学及び部局の目標に即して適正な状況にあるか。	共同利用・共同研究拠点 令和3年度実施状況報告書	例えば「国際的な研究を推進する」という目的を掲げる部局であれば国際共著論文や国際学会での発表件数の推移など、部局が行う研究活動が想定する成果をあげていることを確認できる資料（年報、報告書等）	☒ 適切である ☐ 改善を要する事項がある
7-2-4	活動方針に基づいた研究支援活動が行われ、その結果による成果が出ているか（総合研究センターのみ）。		・センター年報など活動実績が確認できる資料	☐ 適切である ☐ 改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

No	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	該当なし		

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第1 点検・評価チェックリスト

8 図書館及びICTに関すること

8-1 全学組織が実施するモニタリング等のチェックリスト

項目番号	モニタリング等の観点	根拠資料	【参考】 想定される根拠資料	点検・評価結果
8-1-1	教育研究活動を展開する上で必要なICT環境を整備し、それが有効に活用されているか。	総合情報システム基本設計書（全体編）	・学術情報基盤実態調査（コンピュータ及びネットワーク編）	■適切である □改善を要する事項がある
8-1-2	図書館において、教育研究上必要な資料を利用可能な状態に整備し、有効に活用されているか。	学術情報基盤図書館活動報告（令和3年度）	・学術情報基盤実態調査（大学図書館編）	■適切である □改善を要する事項がある
8-1-3	情報基盤及び学術情報資料の活用について適切な支援が行われているか。	学術情報基盤図書館活動報告（令和3年度）	・情報基盤及び図書館に関する活動報告 ・図書館関係統計	■適切である □改善を要する事項がある

第2 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（全学組織が行う部局に対する改善指示を含む）

No	自己点検・評価の結果、確認された改善を要する事項	関連する点検・評価の項目番号	改善計画	進捗状況
1	該当なし			☐ 検討中 ☐ 対応中 ☐ 対応済 ☐ その他 ()

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

※改善計画欄には、改善計画を実施する時期を明記すること。

第3 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	全学的に DX を推進する体制の整備	8-1-1	
2	電子ジャーナル 10 パッケージ購読維持の検討	8-1-2	教育研究上、必要不可欠の資料であるが、予算上の課題がある。
3	本学におけるオープンサイエンス方針の策定	8-1-2	研究推進と連携した取組が必要

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第4 点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項

NO	自己点検・評価の結果、「適切である」とした事項のうち、さらなる成果を上げるための活動計画を策定している事項	関連する点検・評価の項目番号	活動計画
1	総合情報システムの更新に係る仕様検討	8-1-1	コロナ禍終息後も有効活用が期待される教育・研究環境の維持を含めた、総合情報システムの更新に向けて、仕様策定のための情報収集及び調査を実施する。

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。

第5 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組

No	優れた成果が確認できる取組	関連する点検・評価の項目番号	特記事項
1	総合情報システム及びLMSのクラウドサーバー上における安定運用	8-1-1	コロナ禍において講義・会議等のオンライン化に安定的に寄与した
2	リモート支援のためのVPN及びGIGAスクールの安定的運用	8-1-1	コロナ禍の中VPNシステム及びGIGAスクールを安定的に運用した
3	電子ジャーナル10パッケージの購読維持	8-1-2	教育研究上の必要資料であり、中四国でも3番目の購入規模である

※欄が不足する場合は適宜、追加すること。